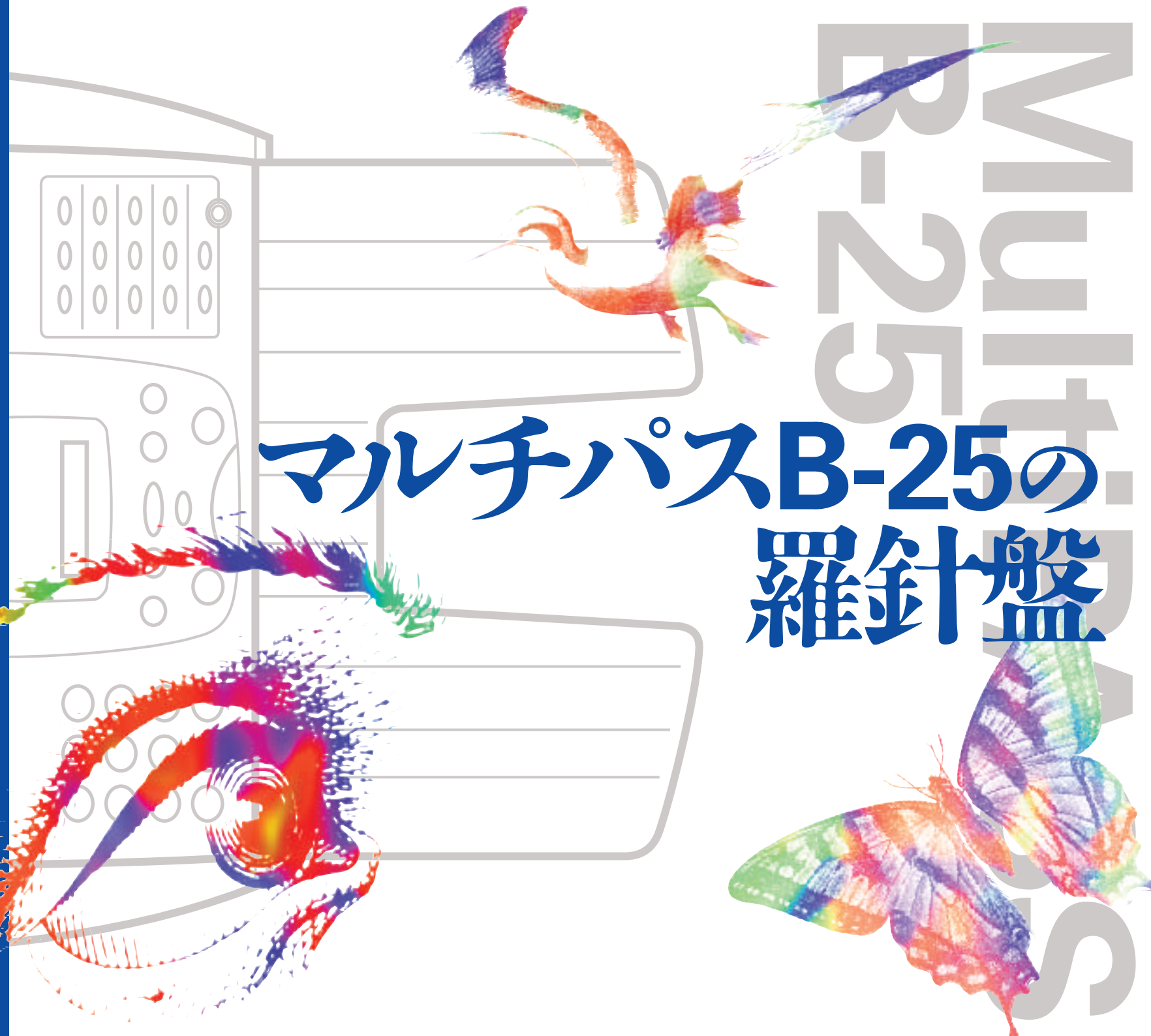
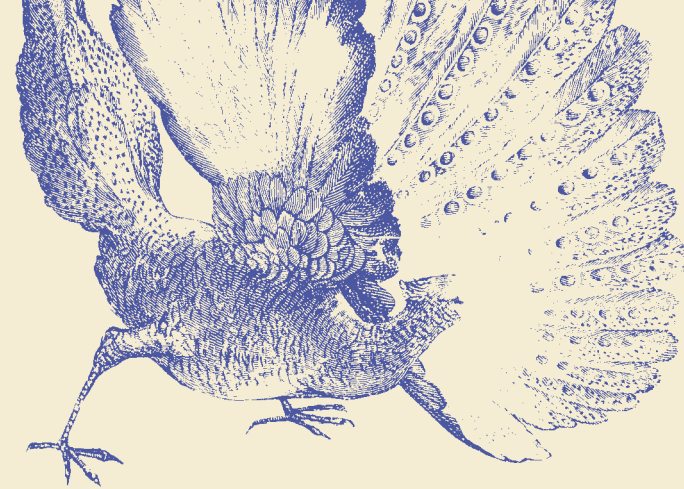
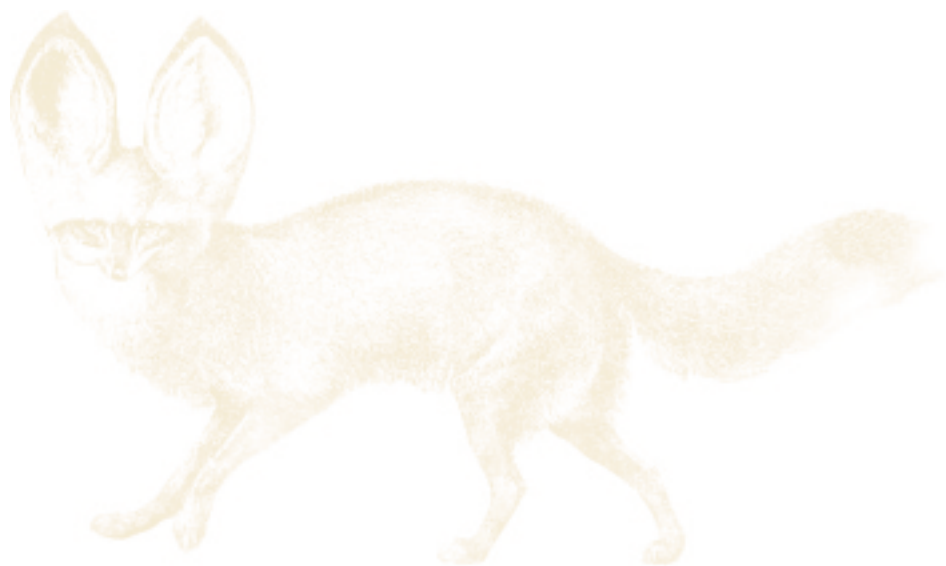
最初にこの本を御覧ください

これは、マルチパスB-25の使い方を、
体験しながらおぼえてもらう本です。
●前半は組み立てて使えるようにする準備を、
後半はパソコンからファクスやプリンター、
スキャナとして使う方法をやさしく説明します。
●プリンタやパソコンに慣れていない人は、
時間がかかるかもしれませんが、この本を
読みながらひとつずつ進めてください。
●マニュアルなんか読むのはめんどうくさいと
思っている人や、読んでも難しくて
わからないと考えている人も、
この本なら大丈夫だと思います。
●きっと、この本がB-25を使いこなすための
羅針盤になってくれると思います。

マルチパスB-25の羅針盤

MultiPASS B-25

はじめての海へ航海しながら、新しい島を発見し、見たこともない動物に出会う。
そういう旅をイメージしてこの本を作りました。
マルチパスB-25にはいろいろな使い方があります。
しかし、その旅はみな同じように始まります。
そして、旅を支えるのはあなたの好奇心です。

マルチパスB-25の
羅針盤

はじめに

この本は、マルチパスB-25(以下、B-25と呼びます)の基本的な使い方を、体験しながらおぼえてもらうために作りました。

■ 前半は、B-25をはじめて使うときにやらなければいけないこと、後半はパソコンを使ってできることについて説明します。

B-25にはいろいろな機能があります。プリンタとしての機能のほかに、カラーファクシミリ、スキャナ(パソコンに絵や写真を読みこむ装置)、カラーコピー機としての機能があります。また、受信したファクスや読みこんだ画像をデスクトップマネージャというソフトウェアで整理することができます。

■ こんな多くの機能を持った製品の使い方を一度におぼえるのは至難の技です。少しずつ、使いながら慣れていくしかありません。プリンタやパソコンに慣れていない人は、時間がかかるかもしれませんが、この本を読みながらひとつずつ進めてください。

■ マニュアルなんか読むのはめんどうくさいと思っている人や、読んでも難しくてわからないと考えている人でも、この本なら大丈夫です。きっと、この本がB-25を使いこなすための羅針盤になってくれることでしょう。

平湯あつし(文)/小谷充(デザイン)

目次

この本の構成

B-25を使う前に必要なこと(前半)

B-25を箱から出してから、パソコンにソフト(マルチパススウィート)をインストールするまでの作業を順を追って書いてあります。

「準備するもの」(6ページ)にしたがって、必要なものをそろえてから、ひとつずつ順番に読み進めながら、作業をしてください。

1(B-25の組み立て)、2(写真のコピー)、3(マルチパススウィートのインストール)にそれぞれ10〜20分かかります。

パソコンにつながずに、B-25本体だけで使うときは、1、2の作業が終わったら『MultiPASS B-25使用説明書』をご覧ください。

4(使用説明書とヘルプの見方)では、この本以外のマニュアルやヘルプの使い方を説明します。

パソコンを使わないでB-25本体だけで行う操作については、『MultiPASS B-25使用説明書』にくわしい説明があります。

マルチパススウィートを使ってできること(後半)

後半は、パソコンとB-25をつないでパソコンでできることを解説します。

目次を見るかパラパラとめくって、必要なところだけを読んでください。それぞれ、基本的な操作のしかたは手順を追って説明しているので、実際にその通りにやってみると、使い方がよくわかると思います。

パソコンと接続して使うときの操作については、CD-ROMにはいっている『MultiPASS Suite使用説明書』にくわしい説明があります。
本書の34ページには、『MultiPASS Suite使用説明書』の読み方の説明があります。

この本の読み方

章と章のタイトル
この本は、前半が4つの章に、後半が5つの章にわかれています。

ページのタイトル
ページごとの目的が記されています。
そのページの目的を確認してください。

ページの内容
そのページの内容やおおまかな操作の流れが記されています。
手順を読み進める前に目を通してください。

解説図と手順
解説図には、操作する部分が白くなっています。
頭に■がついている文章が手順の１ステップです。
上段の3ステップを右へ読み進み、
下段の3ステップを右へ読み進んでいきます。
必要なときだけ行えばいいことには
●がついています。あなたの場合に
あてはまらないときはとばしてください。

ページの内容

ページのタイトル

コラム
ページの左にコラムがある場合があります。そのページで使われる用語や補足説明、ヒントが記されています。

ページ番号

ページ番号

この本をマスターしたら
『マルチパスB-25の羅針盤』は、スタートアップガイドとして、簡潔な説明を心がけています。
この本をマスターしたら、くわしい説明書にも目を通して、マルチパスB-25をより使いこなしましょう。

準備するもの

最初にいくつか準備してほしいものがあります。
カラーコピーしたり、印刷してみたい原稿と紙、そのほかにいくつかそろえてください。

●マルチパスB-25
●写真1枚　カラーコピーをとりたいもの。(写真でなくてもよい。A4より小さいもの)
●用紙　インクがにじみにくいA4の紙。できれば、「高品位専用紙(HR-101S)」(A4)などのキヤノンのBJプリンタ専用紙。失敗することも考えて10枚以上準備してください。
●アース線　B-25の箱にははいっていないので、購入してください。
●ドライバー　アース線をとりつけるときに使います。

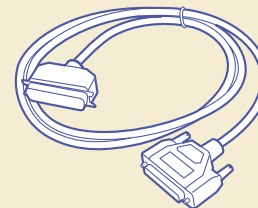
パソコンとつないで使うとき

●パソコン　IBM PC/AT互換機　60M(メガ)バイト以上(できれば150M(メガ)バイト以上)の空きがあるハードディスク、256色対応のSVGA以上のモニタ、CD-ROMドライブ(ネットワーク接続でアクセスできるCD-ROMでも可)。

OS	CPU	メモリ	接続する方法 パラレルケーブル	接続する方法 USBケーブル	使用するために必要な権限	インストールのために必要な権限
Windows(ウィンドウズ) 95	Pentium(ペンティアム) 90以上	32M(メガ)バイト(できれば64Mバイト以上)	○	×	−	−
Windows 98	Pentium 90以上	32Mバイト(できれば64Mバイト以上)	○	○	−	−
Windows Me	Pentium 150以上	32Mバイト(できれば64Mバイト以上)	○	○	−	−
Windows NT4.0(サービスパック3以降)	Pentium 90以上	32Mバイト(できれば64Mバイト以上)	○	×	Power Users権限以上	管理者、または、管理者権限
Windows 2000	Pentium 133以上	64Mバイト(できれば128Mバイト以上)	○	○	Power Users権限以上	

●パソコンとB-25をつなぐケーブル

パソコンの、パラレルポートと接続するか、USBポートと接続するかによって、パラレルケーブルかUSBケーブルが必要です。パソコンにどちらのポートがあるかを、まず確認してください。両方あって、OSがウィンドウズ98、ウィンドウズMe、ウィンドウズ2000のどれかであれば、どちらでも接続できます。
どちらもB-25の箱にははいっていないので、B-25とは別に購入してください。

パラレルケーブル(双方向)
2m以下の「IEEE 1284」に適合している**双方向**パラレルインタフェースケーブルをお選びください。
最近のパラレルケーブルはほとんど「双方向」ですが、数年前までは双方向でないものが主流だったので、古いものは使えない場合があります。ケーブルと差し込み口の形がぴったりでも「双方向」でないと、B-25には使えません。

USBケーブル(Aタイプ-Bタイプ)
B-25のUSBポートはBタイプです。コンピュータのUSBポートは一般にAタイプなので、5m以下の「Aタイプ−Bタイプ」のUSBケーブルを準備してください。

●電話回線の差し込み口はどんな形ですか?

このようなモジュラー式差し込み口であれば、とくに用意するものはありません。

3ピンプラグ式の差し込み口につなぐときは、市販の3ピンプラグ式交換アダプタが必要です。
3ピンプラグ式交換アダプタ(いろんな形がありますが、一般にこんな形です)

電話がこのように接続されていて、ケーブルをはずせないときは、モジュラー式差し込み口に変える必要があります。工事には資格が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

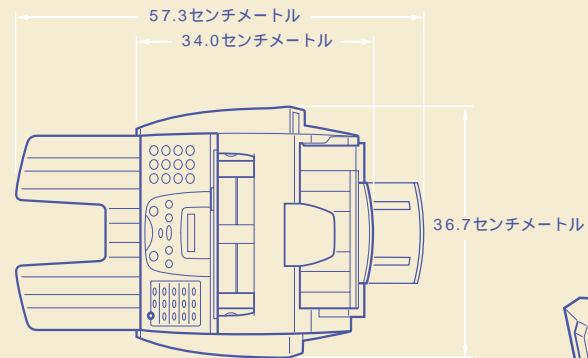
B-25を使う前に必要なこと

さっそく、B-25の組み立てにとりかかりましょう。
ページをめくりながら順番に進めてください。
この本の前半では、B-25を箱から出して組み立て、
うまく組み立てられたかどうか確認するために
カラーコピーをとり、
パソコンをつないで使うための準備をします。
全部で、30分から1時間くらいの
時間がかかると思います。

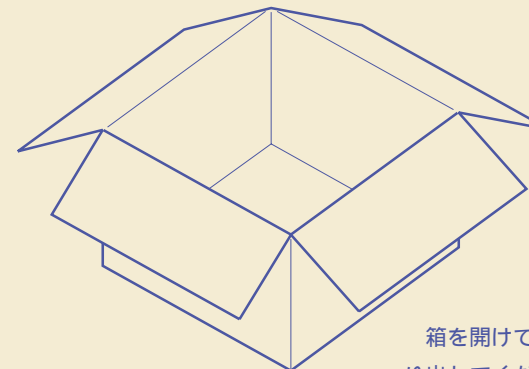
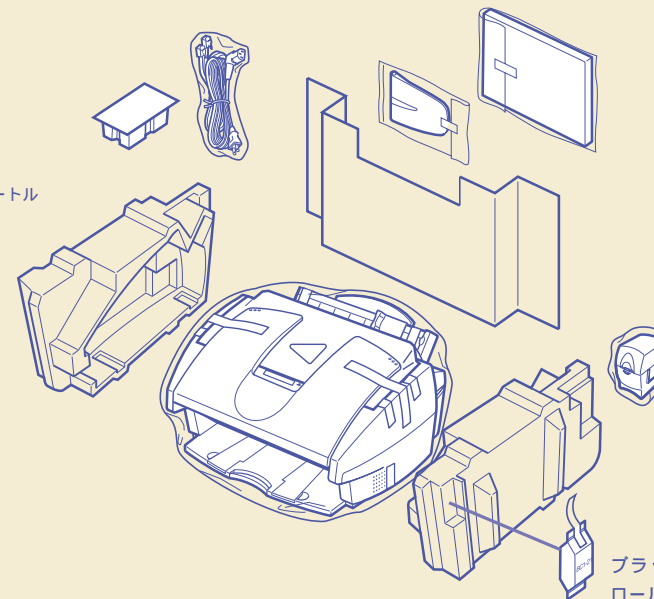
1

B-25の組み立て

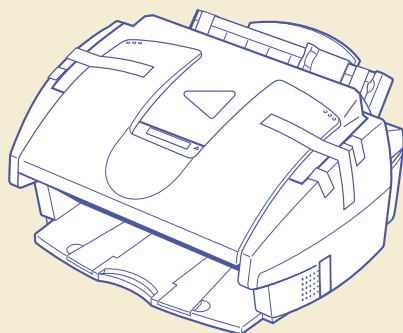
まず、置く場所を決めて、
B-25の箱の中にはいっているものを
取り出します。
B-25は、電源と電話回線とパソコンに
つながなければいけないので、
いちど置いてしまうと
あとで動かすのはやっかいです。
使いやすい場所を確保してください。

置く場所を決めて、箱の中身を出す

高さ　27.7センチメートル／重さ　約5.1キログラム

■まず、置く場所を決めます。
電源コンセント、電話の差し込み口、パソコンの近くで、この広さが確保できる場所を探してください。

ブラックインクは、発泡スチロールに貼りつけてあります。黒いインクがなくなったときのスペア(替え)のインクなので、袋を開けずにとっておいてください。

■箱を開けて、付属品や本体をひとつずつ取り出してください。
本体は約5.1キログラム。取り出すときは、誰かに箱を押さえてもらうとかんたんに取り出せます。

部品を確認する

箱の中にはこんなものがはいっています。
部品の名前をおぼえる必要はありません。
はいっているかどうかを確認して、
足りないときは、
B-25を買った販売店に
連絡してください。

これがB-25の本体です。

原稿トレイ

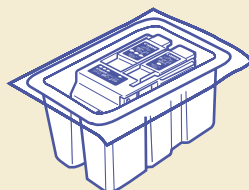
原稿を支えるために本体に取りつけます。

モジュラージャックコード

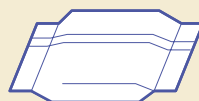
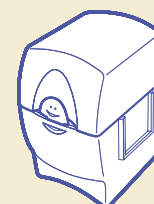
電源コード

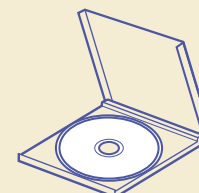
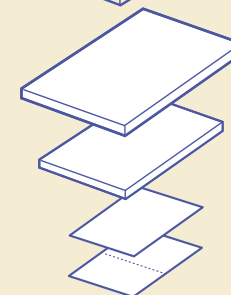
モジュラージャックコードは電話回線につなぐために、電源コードは電源コンセントにつなぐために使います。

▼まだ開けない

カラーBJカートリッジ
BC-21e

▼まだ開けない

BCI-21
ブラックインク
カートリッジ

カラーBJカートリッジは、インクを紙に吹きつけるとても大切な部品です。
ブラックインクカートリッジは黒のインクがなくなったときのためのスペアなのでインクがなくなるまで、袋を開けないでください。

BJカートリッジ
保管箱SB-21

BJカートリッジをプリンタから取りはずしたときは、インクを出す部分が乾かないように、保管箱に入れてください。

「MultiPASS B-25」CD-ROM
CD-ROMには、『MultiPASS Suite 使用説明書』もはいっています。
ケースに、ソフト使用許諾契約書がはいっています。

マルチパスB-25の羅針盤（この本）

MultiPASS B-25 使用説明書

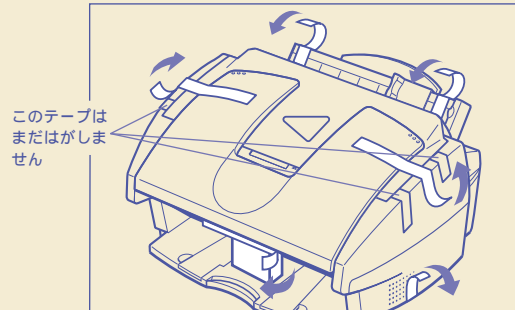
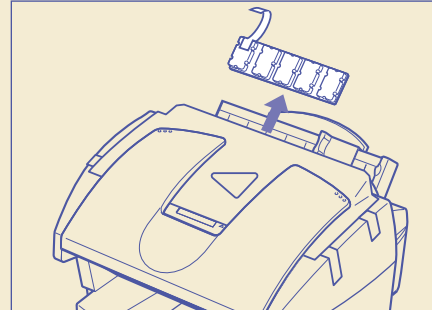
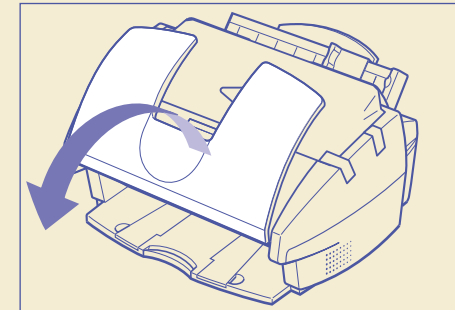
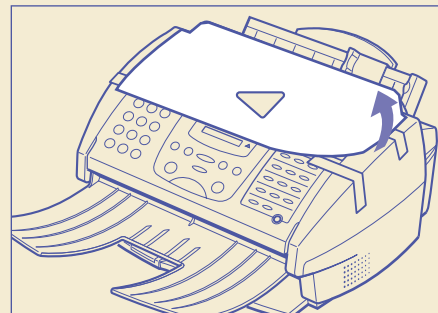
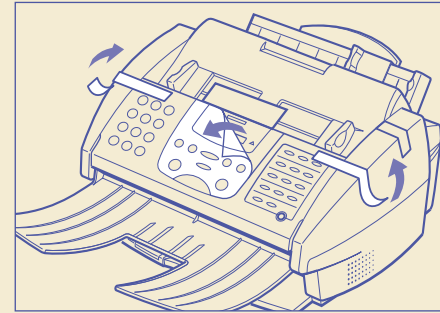
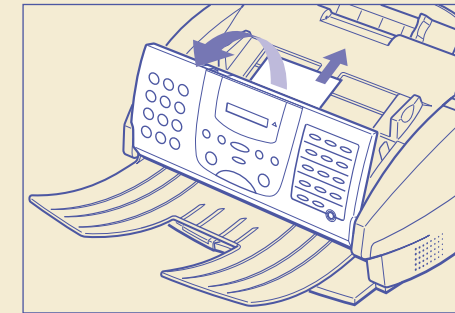
保証書

アンケートハガキ

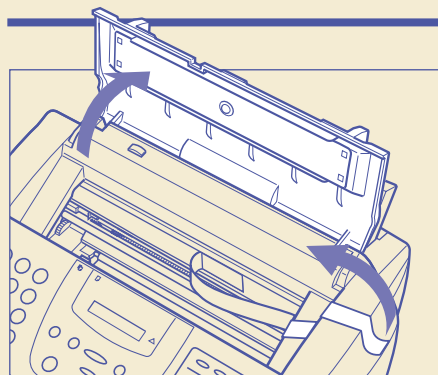
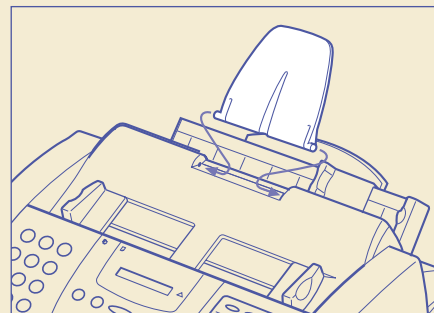
1

B-25の組み立て

B-25はテープや梱包材に
保護されて箱にはいっています。
箱から取り出したら、
まずテープや梱包材を
はずしてください。

テープや梱包材をはずす

B-25の外側に貼られているテープをはがしてください。
記録排紙口(前面下)の梱包材は、テープをはがすと、とりはずせます。

記録紙トレイのテープをはがして、保護材をはずしてください。

原稿排紙トレイを開いてください。

操作パネルの保護シートをはずし、テープをはがします。

操作パネルを固定しているテープをはがし、中央の透明なシートをはがします。

操作パネルの両側を持って、ゆっくりと手前に開きます(少ししか開きません)。
保護シートを抜き取り、操作パネルをゆっくりと押して閉じてください。きちんと閉まるとカチッと音がします。

付属品を取りつける

原稿を支える付属品を取りつけてください。

■上カバーを開けて、左手でカートリッジフォルダ（本体内部の右側奥にテープで固定されています）を押さえながら、テープをはがしてください。

■原稿トレイを後ろの方にそる形に取りつけてください。穴に原稿トレイの一方の突起をはめこみ、もう一方もゆっくりとはめこみます。

●原稿排紙トレイがはずれたときは、B-25にかぶせるように、原稿排紙トレイの突起のへこみをB-25の回転軸に差しこみます。
原稿排紙トレイを閉じたときの角度に持って、上からまっすぐ下に向けて差しこみます。

原稿と用紙

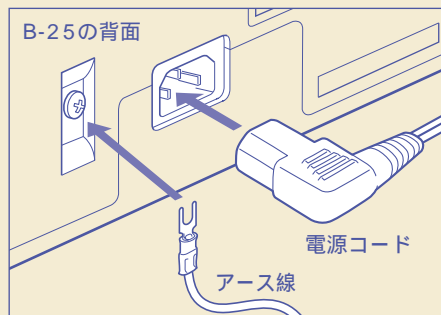
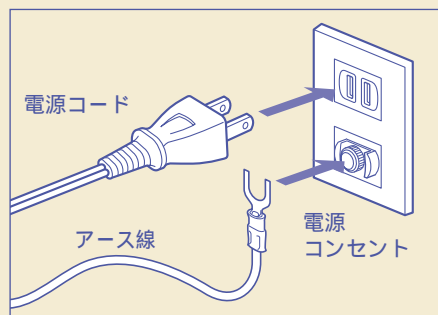
読みこむ元になる書類や写真などを、この本では「原稿」といいます。印刷するのに使う、紙やOHPシートは「用紙」といいます。記録用紙ということもあります。

また、原稿や用紙をB-25の中に吸いこむことを「給紙」、吸いこんだ紙をはき出すことを「排紙」といいます。

ここで取りつける原稿トレイは、給紙のときに原稿を支えるためのものです。

1 B-25の組み立て

電源コードをつなぐ

B-25には電源スイッチがありません。
電源コードをつなぐと電源がはいります。
電源がはいってしばらくすると、
使える状態になります。
電源コードは、B-25の箱に
はいっています。
アース線ははいっていません。
別途、購入してください。

付属の電源コードの片方を、B-25の後ろ側の電源コード差し込み口に差しこみます。電源コード差し込み口の左側のねじをドライバーでゆるめ、アース線をはさみ、ねじを回して固定します。

電源コードのもう片方を電源コンセントに差しこみます。アース線はアースに接続してください。

液晶に表示されるメッセージを見る

電源コードをつなぐと
B-25の中央にある液晶に
文字が表示されます。
ここに表示される文字(メッセージ)で、
B-25は、自分がどういう状態にあるかを
しらせてくれます。
B-25本体を操作するときは、
この液晶に表示されるメッセージを
見ながら操作してください。

電源がはいると、B-25中央の液晶のところに「シバラクオマチクダサイ」という文字が表示されます。

これは、3月6日のときの表示です。まだ設定していないので正しい日付は表示されません。

「カートリッジガアリマセン」と表示されるのは、BJカートリッジをまだセットしていないからです。気にしないでください。

しばらくすると日付と「ジドウ」という文字が表示され、「カートリッジガアリマセン」という文字と交互に表示されます。

日付

液晶には日付が表示されますが、まだ、正しい日付は表示されません。

パソコンを接続して、インストールを行うと、パソコンと同じ日付になります。パソコンに接続しないときは、21ページまでの作業を行ったあと、『Multi PASS B-25使用説明書』の1章を見て日付を設定してください。

受信モード

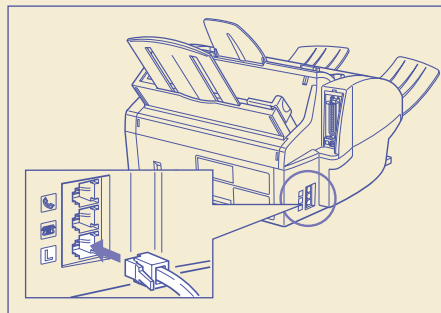
B-25に電話やファクスがかかってきたときに、どのように反応するようになっているかを受信モードといいます。

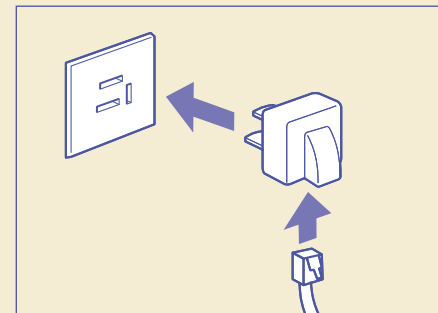
「ジドウ」というのは、「自動受信モード」のことです。このモードになっていると、電話がかかってくると、ファクスが送られてきたものとみなして、ファクスの受信をはじめます。(ただの電話のときはファクスを受け取れないので電話を切ります)

受信モードの選び方については、23ページで説明します。パソコンに接続しないときは、『MultiPASS B-25使用説明書』の4章を見てください。

1 B-25の組み立て

ファクスの送信、受信ができるように、
B-25を電話回線につなぎましょう。
電話回線にB-25だけをつなぐとき、
つまり、
電話回線をファクス専用に使うときは、
このページを見てください。
今まで電話をつないでいた電話回線に
B-25をつないで、電話機とB-25の
両方を使えるようにしたいときは、
つぎのページを見てください。

（A）なにもつながっていない電話回線にB-25をつなぐとき

B-25の箱にはいっていたモジュラージャックコードの片方をB-25の後ろ側にある L マークの右に差しこみます。奥まで差しこむとカチッと音がします。

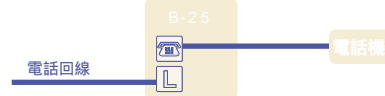
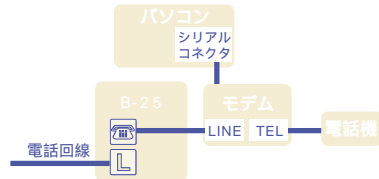
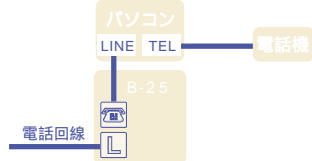
モジュラージャックコードのもう片方をNTTからきている電話回線の差し込み口に差しこみます。

●3ピンプラグ式差し込み口のときは、3ピンプラグ交換アダプタを使ってください。

こんな形につなぎます。

（B）電話やモデムに使っていた電話回線にB-25もいっしょにつなぐとき

今まで電話やモデムに使っていた電話回線にB-25もいっしょにつなぐときは、電話機やモデムとNTTの差し込み口の間にB-25がはいるようにつなぎます。

電話機やモデムをつなぐときは、こんな形にします。B-25の L がNTT回線側、☎ が電話機側です。

電話機をつなぐとき

モデムと電話機をつなぐとき

パソコンの内蔵モデムと電話機をつなぐとき

留守番電話サービスやキャッチホンサービス
これらのサービスを利用している電話回線にB-25を接続すると、ファクスの送受信中にエラーが起きることがあります。このようなサービスを利用しているときは、別の回線にB-25を接続することをおすすめします。

■電話機やモデムのモジュラージャックコードのNTT回線側をはずして、B-25の後ろ側にある ☎ マークの右に差しこみます。奥まで差しこむとカチッと音がします。

■B-25の箱にはいっていたモジュラージャックコードを、B-25の L マークの右とNTT回線側の差し込み口に差しこみます。

カイセン　シヨウチュウ

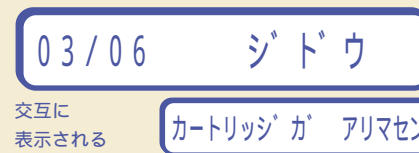
交互に表示される

カートリッジ゛ガ゛　アリマセン

■ちゃんとつながっているかどうか確認するために、電話をかけてみてください。電話がかからないときは、つなぎ方をまちがっていると思われます。つなぎなおしてください。L がNTT回線側、☎ が電話機側です。

03／06　　ジ゛ド゛ウ

交互に表示される

カートリッジ゛ガ゛　アリマセン

シュド゛ウ　ジ゛ュシン　モード゛

■液晶には、「ジドウ」と「カートリッジガアリマセン」が交互に表示されます。この状態では電話がかかってきてもとれません。「シュドウジュシンモード」と表示されるまで、受信モードボタンを押してください。

03／06　　シュド゛ウ

交互に表示される

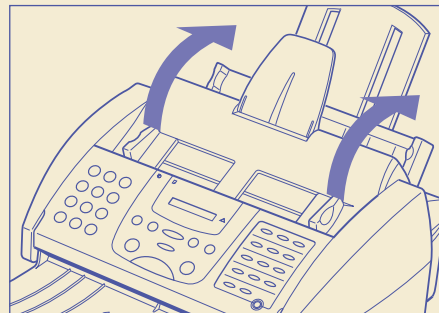
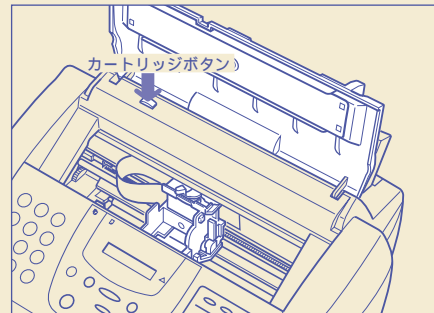
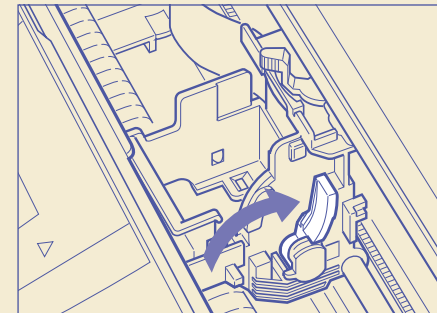
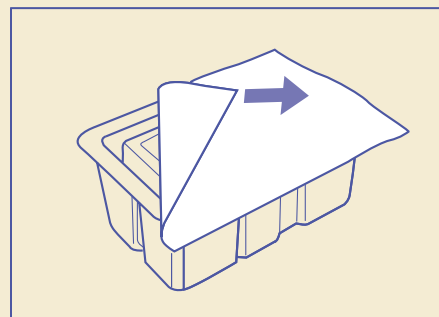
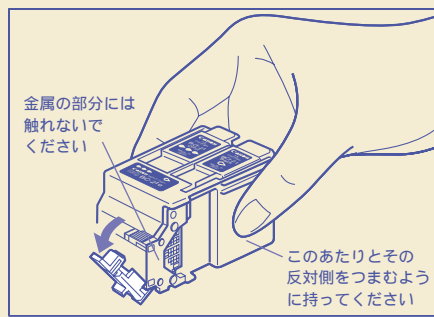
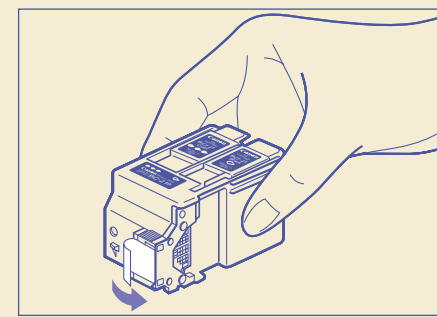
カートリッジ゛ガ゛　アリマセン

■「シュドウジュシンモード」と表示されたままにしておくと、「手動受信モード」に設定され、日付の右側に「シュドウ」と表示されます。
電話がかかってきたら受話器をとってください。ファクスのときはスタートボタンを押します。

1 B-25の組み立て

BJカートリッジを取りつける

B-25の心臓部、BJカートリッジの
取りつけです。
カラーBJカートリッジの
ケースの中を見てください。
BC-21eと書いてある黒い部分が
BJカートリッジです。
その中に灰色のものが
ふたつはいっています。
左側が青と赤と黄色のインク、
右側が黒いインクです。
なくなった方だけ交換すればいいように
ふたつに分けてあります。

BJカートリッジ
BJカートリッジは、プリンタの中でとても大切な部分なので注意してほしいことがいくつかあります。とくに重要なことがふたつ。
　ひとつは、金属の部分と、プリントヘッド(オレンジ色のシールで保護されている部分)にさわらないこと。
　もうひとつは、ケースから出したらすぐにB-25に取りつけるか、保管箱にしまうこと。外に出しておくと乾燥して使えなくなります。

原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。
ひっかかるときは、原稿ガイドを外側にひろげてから開けてください。

上カバーを開けたまん中にカートリッジホルダがあります。
BJカートリッジが取りつけられているときは、カートリッジホルダは右側にかくれています。(カートリッジボタン。上カバー開けたところにある青いボタン)を押すとまん中に移動します。

カートリッジホルダの右側の青いレバーを、ゆっくり上に起こします。

カラーBJカートリッジのケースを開けて、側面を持って取り出します。
カラーBJカートリッジは、B-25の箱にはいっています。
金属の部分には触れないように気をつけてください。

カートリッジについているオレンジ色のプラスチックをはずします。

オレンジ色のシールをはがします。
取りはずしたプラスチックとシールは捨ててください。またつけると、印刷できなくなります。

BJカートリッジの種類

B-25の箱にはいっているのは、「カラーBJカートリッジBC-21e」だけですが、他にもいろいろなカートリッジがあります。

もっときれいに印刷できるのが、写真用インクの「カラーBJカートリッジBC-22eフォト」。蛍光色のあざやかな印刷ができるのが、「蛍光BJカートリッジBC-29F」。

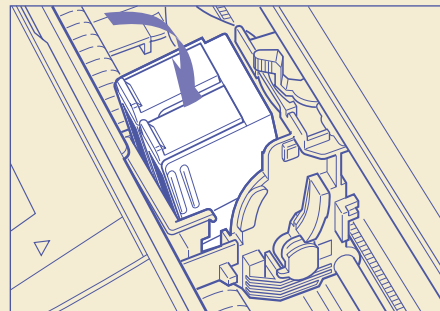
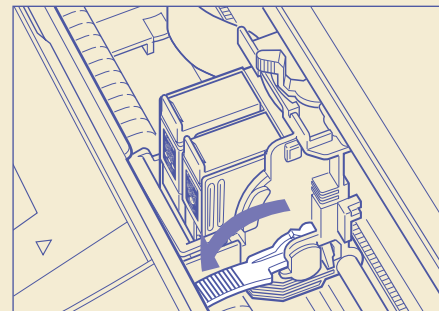
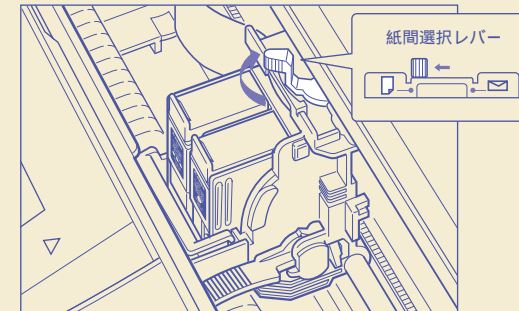
黒いインクばかり使ってしまうときは、カラーBJカートリッジのブラックインクだけ交換する方法もありますが、カートリッジを「ブラックBJカートリッジBC-20」にする方法もあります。モノクロ印刷しかできませんが、黒のインクがたくさんはいっているし、印刷のスピードも速くなります。

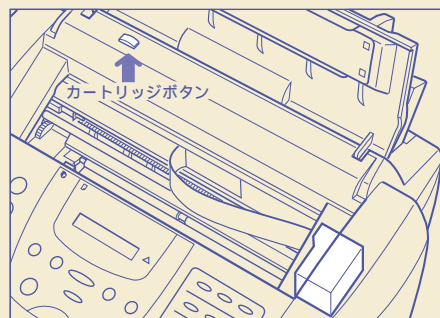
カートリッジホルダの位置

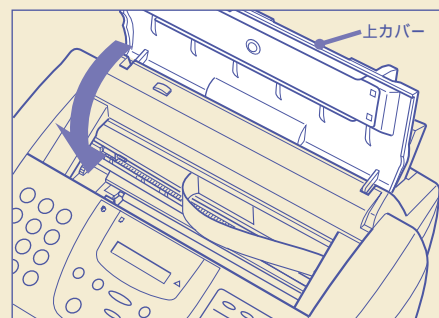
カートリッジホルダは、いつもは、いちばん右側の見えないところにあります。

この場所にあるときは、インクが乾かないような仕組みになっています。

印刷するときや、BJカートリッジがはいっていないときだけ、まん中に移動します。

インクを交換するときは、カートリッジボタンを押すと、まん中に移動します。もういちどカートリッジボタンを押すと右側にもどります。

■BJカートリッジのラベルがついているほうを手前にして、カートリッジホルダに入れます。

■右側の青いレバーを止まるまで押し下げてください。BJカートリッジが右に寄って固定されます。

■紙間選択レバーの位置を左にします。

紙間選択レバーは、どんな紙かで選びます。厚い紙、封筒、バナー紙のときは右、普通は左です。

■カートリッジボタンを押します。

ピーピーと音が鳴って、カートリッジホルダが左右に動きます。カートリッジのインクを出す部分(プリントヘッド)のクリーニングが終わると、右側奥に収まります。

■上カバーを閉じます。

受信モードを変えていないとき(自動受信モード)

03/06　　ジドウ

手動受信モードにしたとき

03/06　　シュドウ

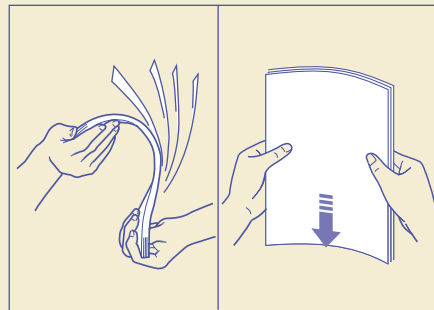
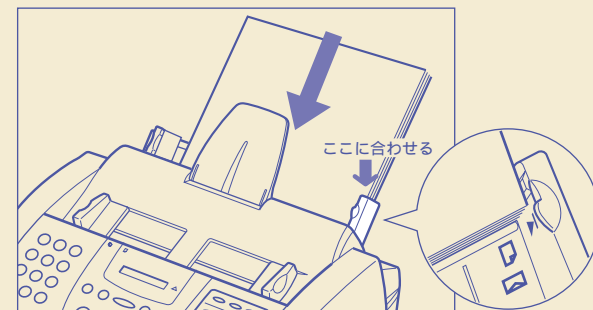
■静かになって液晶表示に日付と受信モードが表示されます。

これで、いつでも使える状態になりました。

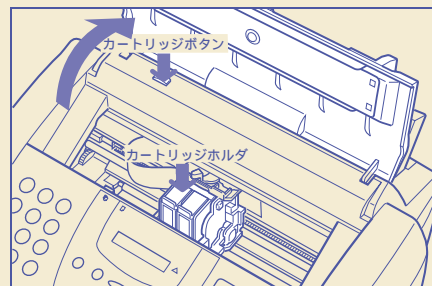
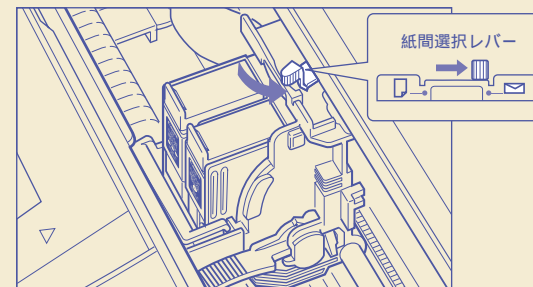
2 写真のコピー

うまく組み立てられたかどうか、
写真のコピーをとって
試してみましょう。
紙は、できれば、
キヤノンのBJプリンタ専用紙が
いいのですが、ないときは
インクがにじみにくい紙を
使ってください。

紙をセットする

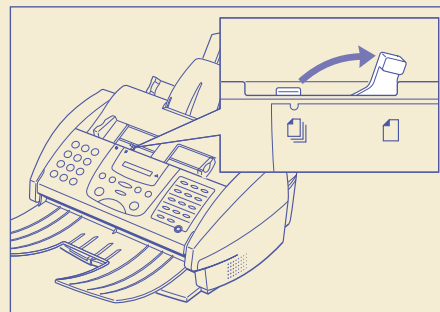
記録紙サポートを、止まるまで引き出し、記録紙ガイドを左に動かします。

紙を持って、セットする方の端をさばいてから、端をトントンとそろえます。

記録紙トレイの右端に紙の右端を合わせ、つきあたるまで差しこみます。
裏表がある紙は、印刷する面を上に向けてセットします。▲マークより上まで紙を入れることはできません。

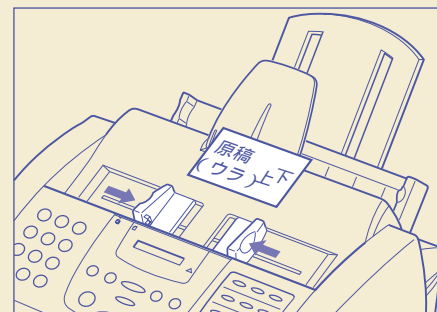
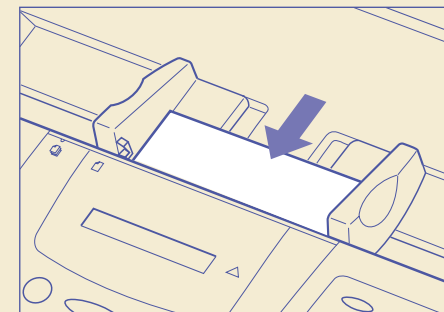
記録紙ガイドを紙の左端に合わせます。

厚い紙に印刷するとき

●もし、厚い紙を使うときは、つぎのようにして、紙間選択レバーを右にしてください。まず、上カバーを開けて、カートリッジボタンを押し、カートリッジホルダがまん中に移動したら、

●紙間選択レバーを右に動かします。また、カートリッジボタンを押し、上カバーを閉じます。
普通の紙を使うときは、紙間選択レバーを左にしてください。

どんな紙を使えばいいか
B-25はインクを紙に吹きつけて印刷します。キヤノンのカラーBJ(バブルジェット)プリンタで使われている方式です。
　精密な印刷では、インクの微妙なにじみも画質に大きく影響するので、きれいに印刷するために、にじみにくい紙を使います。
　キヤノン製のBJプリンタ専用紙であれば、にじみにくく、色がきれいに出ます。BJプリンタと同じようにインクを使って印刷するインクジェットプリンタ用の用紙もこれに近いものです。
　キヤノン製の専用紙には、OHP用のフィルムやフォト光沢ハガキなどもあります(くわしくは、『MultiPASS B-25使用説明書』を)。ぜひ試してください。

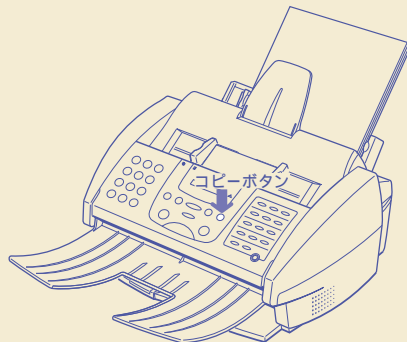
原稿をセットする

原稿には、
サービスサイズの写真を1枚
用意してください。
写真のかわりに、
雑誌の切りぬきやチラシなどでも、
幅が8〜21.6センチで、
長さが4.5センチ〜1メートルの
長方形の普通の厚さの紙なら
だいじょうぶです。
たいせつな原稿をコピーするときは、
「キャリアシート」を使ってください。

給紙レバーを右の位置に動かします。

写真やハガキなどの小さな原稿や厚い紙の原稿やキャリアシートは、給紙レバーを右にして1枚ずつ給紙します。A4サイズの普通紙など一般的な紙は、給紙レバーを左にすると複数の原稿をいちどにセットできます。

原稿（写真）を裏返しにして、上下逆さまに手に持ったまま、まだ奥まで差しこまないで、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

原稿を奥まで差しこむと、ピッと音がして、液晶表示に、「メモリシヨウリョウ 0%」と表示され、つぎに「ゲンコウガアリマス」と表示されます。

キャリアシート（BJスキャニングホルダ）
コピーやファクスのときに、原稿をはさんで読みこむためのものです。透明なシートと白いシートでできています。キャリアシートを使うと、原稿を保護することができるだけでなく、名刺などの小さい原稿や長方形でない原稿、薄い原稿もコピーできます。
　別売りなので、必要なときはB-25を買った販売店に問い合わせてください。

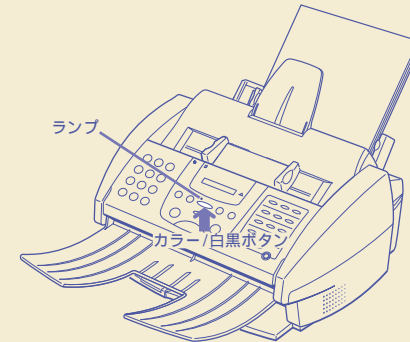
コピーの操作は、原稿と紙をセットして、
コピーボタンを押し、
スタートボタンを
押すだけです。
カラーでコピーするか、
白黒でコピーするかは
カラー/白黒ボタンで切り替えます。
縮小コピーの縮小率は
「∨」ボタンと「∧」ボタンで
切り替えます。

コピーボタンを押す

■コピーボタンを押します。

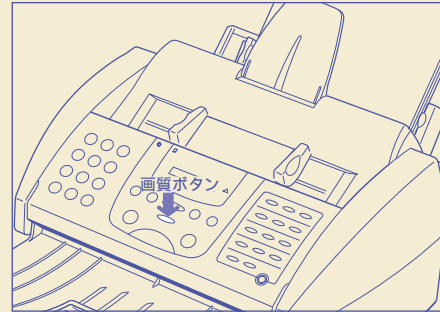
コピ゜ー　100%　01

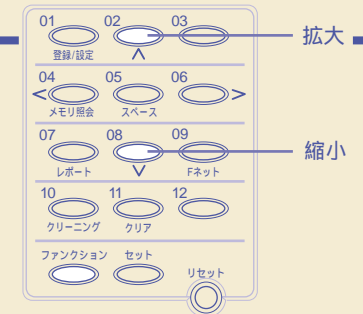
▲コピーモード　▲コピー倍率　▲枚数

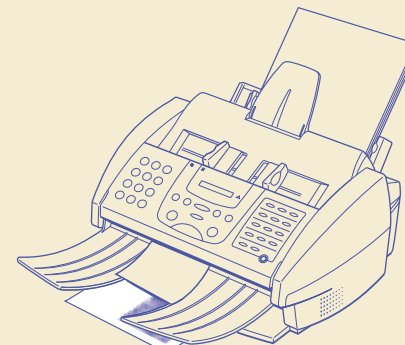
■「コピー100% 01」と表示されます。
「コピー倍率『100%』(等倍サイズ)でコピーを『1』枚とります」という意味です。

ランプ
カラー/白黒ボタン

■カラー／白黒ボタンを押すとランプがつきます。ランプがついているときにコピーをとるとカラーでコピーされます。
もういちど押すと、ランプは消えます。ランプが消えているときにコピーをとると白黒でコピーされます。

スタートボタンを押す

液晶に「コピー100% 01」などと
表示されている間に、
スタートボタンを押すと、
コピーが始まります。
カラーで
「シャシン」を選んだときだけ、
拡大コピーができます。
試してみましょう。

■画質ボタンで、印刷の細かさを指定します。
画質ボタンを押してください。いま、設定されている解像度が表示されます。

■「シャシン」と表示されるまで、何回か画質ボタンを押してください。
「シャシン」と表示されたら、そのままにしてください。しばらくすると、「コピー100% 01」に戻ります。

■カラーで「シャシン」を選んだときは、拡大コピーができます。ファンクションボタンを押して、ランプがついたら、「∧」ボタンを2回押してください。「コピー200% 01」と表示されます。
「∧」ボタンを押すと150%、200%と大きくなります。「∨」ボタンを押すと90%、80%、70%と小さくなります。

■今度は、スタートボタンを押してください。
コピーが始まります。

■コピーしてすぐに触るとインクが手につくことがあります。印刷されていないところをそっと持ってください。

●A4サイズの原稿をカラーコピーするときは、「シャシン」では読みとり幅がせまいので、画質ボタンで解像度を「コウヒンイセンヨウシ」か「フツウシ」か「フツウシ(コウソク)」にしてください。
ストップボタンを押したり、電源コードを抜いても、コピーの解像度は、前の設定のまま変わりません。原稿や用紙の種類を変えてコピーするときは、解像度を選ぶ必要があります。

●液晶表示に「ヤリナオシテクダサイ」と表示されたときは、うまくいかなかったときです。もういちど18ページからやりなおしてみてください。

コピーの解像度
コピーの解像度は、カラーのときと白黒のときで異なります。まず、カラー/白黒ボタンでカラーか白黒を選んでから、解像度を選んでください。
　カラーコピーで、専用紙にきれいにコピーしたいときは「コウヒンイセンヨウシ」、普通紙にコピーするときは「フツウシ」を選んでください。「フツウシ(コウソク)」を選ぶと普通紙に速く印刷できます。
　通常のはがきにコピーするときは「フツウシハガキ」、光沢はがきにコピーするときは「フォトコウタクハガキ」を選んでください。
　白黒コピーするときは、文字だけの原稿なら「シロクロモジ」、写真などがはいっていれば「シロクロシャシン」を選んでください。

3 マルチパス スウィートのインストール

インストールの準備

この後は、B-25をパソコンとつないで使うための操作です。
（パソコンとつながないで使うときは、この後の操作は行わないで『MultiPASS B-25使用説明書』の1章の操作を行ってください）
これからの作業に必要な項目を表にしたので、あらかじめ調べて、記入してください。

パソコンとつなぐケーブル

どちらか選んでください。

☐ パラレルケーブル

☐ USBケーブル →

ウィンドウズの種類	
USBケーブルでつなぐときは、ウィンドウズの種類によって、操作の手順が違います。 つぎのどれかを選んでください。	☐ ウィンドウズ98 ☐ ウィンドウズMe ☐ ウィンドウズ2000

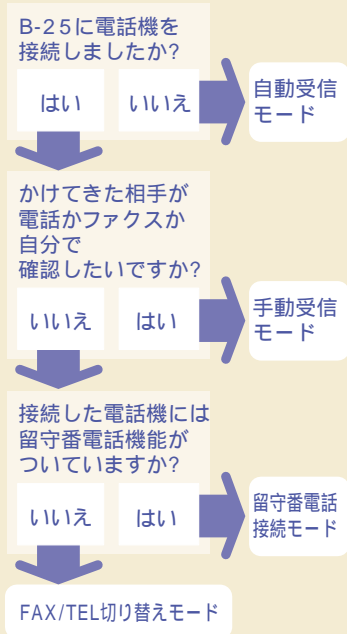
入力する項目

入力する項目	内容	記入欄
受信モード	B-25本体に電話機を接続するかどうかなど。 右ページの「受信モードの選び方」を見て選んでください。	どれか選んでください ☐ 自動受信モード ☐ 留守番電話接続モード ☐ 手動受信モード ☐ FAX/TEL切り替えモード
あなたの「氏名」	自分の名前や所属などを半角文字24字以内で。全角文字は不可。	
あなたの「ファクス番号」	B-25本体が接続されている電話番号を半角20桁以内で。数字の他に、スペース、＋、－、（、）を使えます。全角文字は不可。	
あなたの「社名」	ファクスのカバーページに社名を印刷するときは、半角文字32字以内、または、全角文字16字以内で。	
外線接続番号	一般のNTT回線に接続されているときは空欄。内線に接続されているときは外線接続番号（通常は0）を半角で。全角文字は不可。	6桁まで
受信ファクス	パソコンの電源が入っているとき、受信したファクスをパソコンに転送して保存するか、B-25本体で印刷するか。	どちらか選んでください ☐ ファクスをアップロード ☐ 印刷
接続した電話回線の種類	B-25本体を接続した電話回線の種類。 わからないときは、NTTの回線調べ（116）に問い合わせると教えてくれます。領収書、口座振替のお知らせでもわかります（右ページ参照）。	どれか選んでください ☐ プッシュホン回線 ☐ ダイヤル回線（20pps） ☐ ダイヤル回線（10pps）

ウィンドウズNT、2000の場合に必要な権限
ウィンドウズNT、2000でインストールするときは、管理者、または、管理者権限でログオンする必要があります。（使用するために必要な権限は6ページを参照）

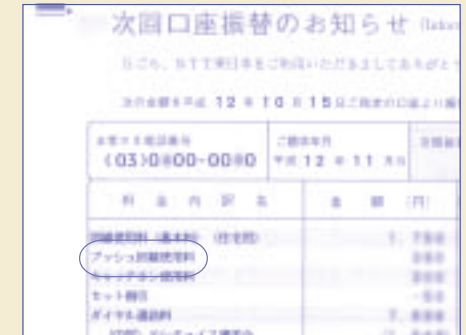
インストール
CD-ROMなどにはいっているソフトウェアをパソコンのハードディスクにコピーして使える状態にすることを「インストール」といいます。

受信モードの選び方

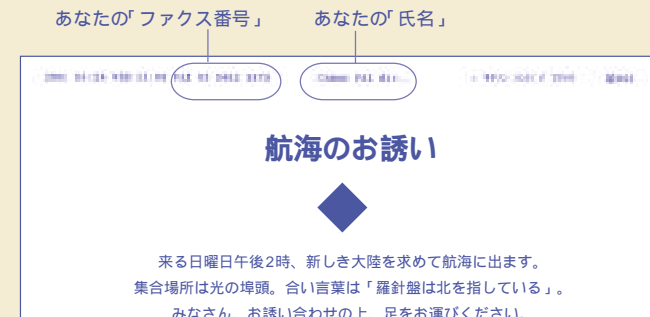
B-25でどのようにファクスを受信するか決めます。

回線の種類

わからないときは、NTTの回線調べ(116)に問い合わせると教えてくれます。

NTTの領収書でも見分けることができます。領収書、口座振替のお知らせに「プッシュ回線使用料」が記載されているときは「プッシュホン回線」。

記載されていないときは「ダイヤル回線(20pps)」を選んでください。(内線に接続したときなど、まれに「ダイヤル回線(10pps)」にしなければならないことがあります。「ハナシチュウデシタ」と表示されるときは、この設定にしてみてください)

NTTの領収書、口座振替のお知らせの例

氏名とファクス番号

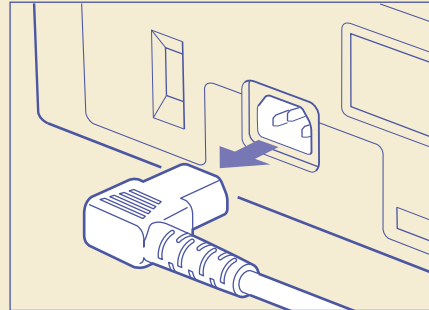
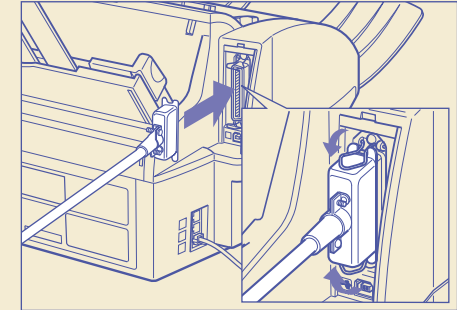
「氏名」と「ファクス番号」は送信したファクスに印刷されます。

3 マルチパス スウィートのインストール

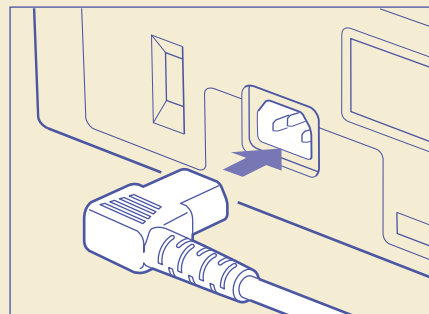
パソコンとB-25は、USBケーブルかパラレルケーブルでつなぎます。
どちらで接続するかは、「準備するもの」(6ページ)を見て決めてください。
ケーブルによって、
作業手順が少し違います。
注意して進んでください。

パラレルケーブルを使うときは、ここでパソコンとつなぐ

USBケーブルでつなぐとき

USBケーブルは、まだつながないで、そのままつぎのページへ進んでください。このあと行うソフトウェアのインストールの途中で、ケーブルを接続します。
すでに接続してしまったときは、パソコンの電源を切ってから、ケーブルをはずしてください。

パラレルケーブルでつなぐとき

パソコンが起動しているときはいったん終了して、パソコンの電源を切り、B-25の電源コードも抜きます。

パラレルケーブルを、B-25の後ろにあるケーブル接続部に、ゆっくりと差しこみ上下の止め金で固定します。
ケーブルの先端と接続部の形が合うように差しこんでください。上下が逆だと差しこめません。

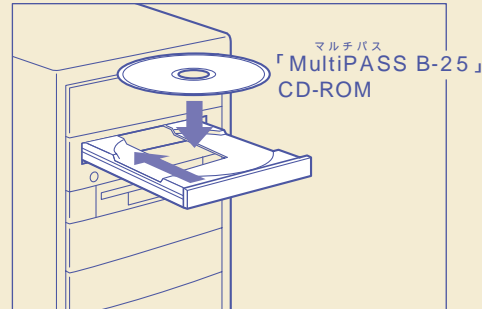
パラレルケーブルのもう片方の端をパソコンのパラレルコネクタ(や などのマークがついています)に、ゆっくりと差しこみ、パラレルケーブルのネジを締めます。

B-25の電源コードをつないでからパソコンの電源を入れ、ウィンドウズを起動します。
起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。

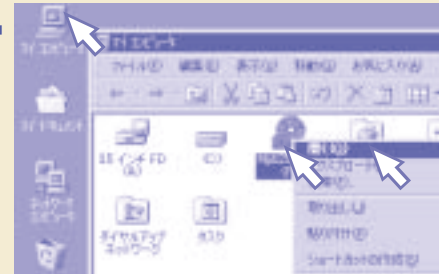
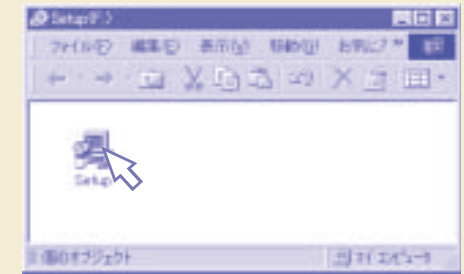
●上のように「新しいハードウェア」画面、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面、「デバイスドライバウィザード」画面が表示されたときは、「キャンセル」をクリックしてください。

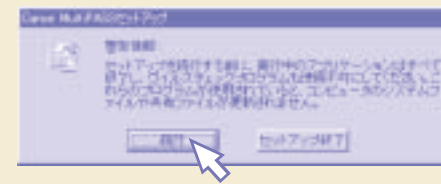
パソコンのパラレルコネクタ

パソコンの、プリンタなどを接続する差し込み口です。 や などのマークがついています。
パラレルコネクタにZIPドライブやコピーガードなどの装置をつけた状態でB-25を使うことはできません。はずしてから接続してください。

CD-ROMからソフトをインストールする

B-25を使うために、
デスクトップマネージャ(Desktop Manager)やプリンタドライバ、
スキャンギア(ScanGear)を
パソコンにコピーします。
これらをまとめて
マルチパススウィート(MultiPASS Suite)
といいます。
パソコンの画面と見比べながら
操作してください。
ただ、スペースの関係で、この本には
画面の文字を読めるような
大きさでは掲載していません。
とくに注意してほしいところを
（楕円）で囲んであります。
この先の操作は数十分かかります。
途中でやめないでください。

「MultiPASS B-25」CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。
パソコンの画面に「MultiPASS Master Installer」と表示されます。

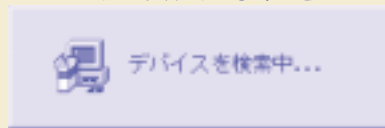
●「MultiPASS Master Installer」と表示されなかったとき

●パソコンの画面の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、その中のCD-ROMのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「開く」をクリックします。

●CD-ROMのウィンドウが開いたら、Setupフォルダをダブルクリックし、その中の「Setup」(または「Setup.exe」)をダブルクリックします。

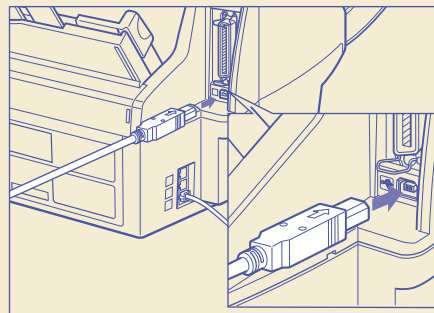
「次へ」をクリックします。

「続行」をクリックします。パラレルケーブルで接続しているときは、28ページへ進んでください。
USBケーブルのときはつぎのページへ。

3 マルチパス スウィートのインストール

このページの操作は、USBケーブルでつなぐときの操作です。
パラレルケーブルでつないだときは、このページとつぎのページはとばして、28ページへ進んでください。

USBケーブルを使うときは、ここでパソコンとつなぐ

USBケーブルでつなぐとき

デバイスを検索中...

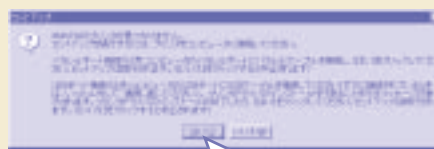
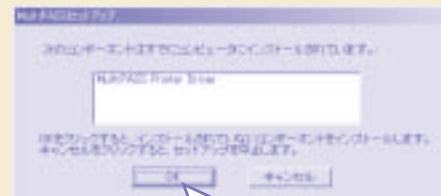
「デバイスを検索中」と表示され、「MultiPASS(マルチパス)プリンタが見つかりません」と表示されたら、パソコンではなにも操作しないで、

USBケーブルを、B-25の後ろにあるUSBケーブル接続部に差しこみ、もう片方の端を、パソコンのUSBポートに差しこみます。

ウィンドウズ98
ウィンドウズMe
を使っているとき
下段へ

ウィンドウズ2000を使っているとき
つぎのページへ

USBケーブルをつないだら、ウィンドウズ98、Meを使っているときは下段へ、ウィンドウズ2000を使っているときはつぎのページへ進んでください。

ウィンドウズ98、Meのとき

ウィンドウズ98、Meのときは、「新しいハードウェア」という画面が表示されます。
ここで、プリンタドライバがインストールされます。

ここで「MultiPASS(マルチパス)プリンタが見つかりません」という画面の「はい」をクリックします。

「次のコンポーネントは・・・」という画面が表示されたら、「OK」をクリックします。28ページへ進んでください。

USBケーブルで、ウィンドウズ2000のときだけの操作

このページの操作は、
ウィンドウズ2000が
インストールされたパソコンと
USBケーブルでつなぐときの操作です。

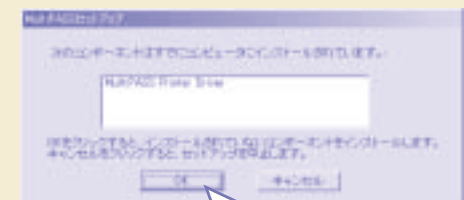
USBケーブルでウィンドウズ2000のとき

「ドライバを検索中」と表示されたあと、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されるので、「次へ」をクリックします。

「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」の左が◉になっているのを確認して、「次へ」をクリックします。

「CD-ROMドライブ」だけが☑になっているのを確認して、「次へ」をクリックします。

「次へ」をクリックします。
プリンタドライバがインストールされます。

ここで「MultiPASS(マルチパス)プリンタが見つかりません」という画面の「はい」をクリックします。

「次のコンポーネントは・・・」という画面が表示されたら、「OK」をクリックします。
つぎのページへ進んでください。

3 マルチパススウィートのインストール

ここからは、
接続するケーブルや
ウィンドウズの種類とは関係なく
どの場合でも必要な操作です。

インストールを続ける

「次へ」をクリックします。

「次へ」をクリックします。

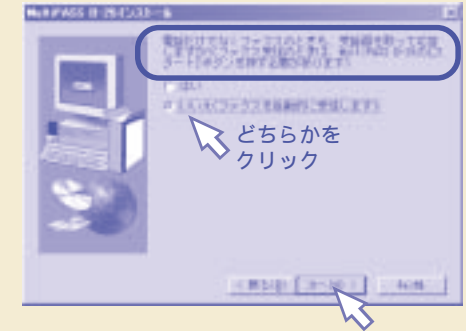
マルチパススウィートをインストールするドライブやフォルダを変えたいときは、「参照」をクリックして新しいインストール先を指定してから、「次へ」をクリックします。

表示をよく読んでから、「次へ」をクリックします。

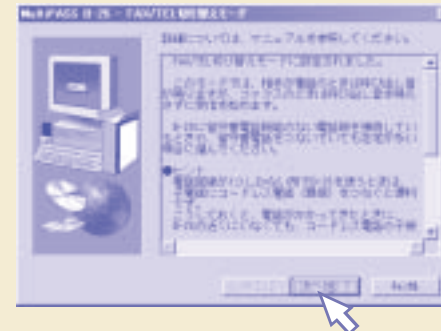
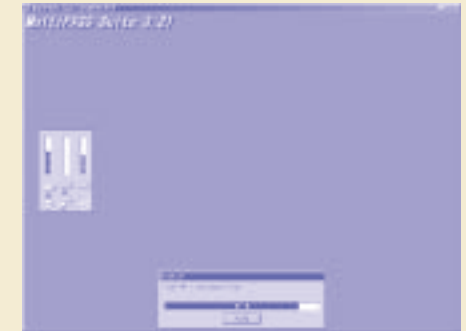
受信モードを設定する

22ページの表にしたがって設定してください。
最初は受信モードです。

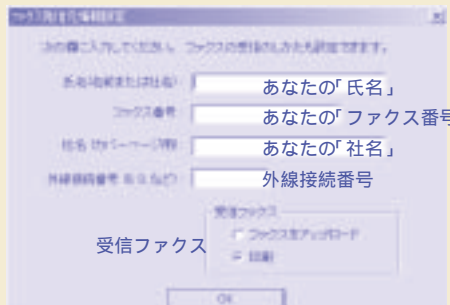
「留守番電話接続モード」にするときは、「はい」をクリックして「次へ」をクリックします。他のモードにするときは、「いいえ」をクリックして「次へ」をクリックします。
「はい」を選んだときは、下段へ。

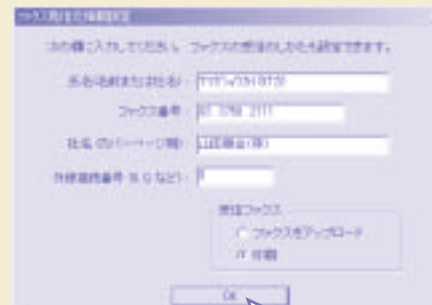
「自動受信モード」にするときは、「いいえ」をクリックして「次へ」をクリックします。
他のモードにするときは、「はい」をクリックして「次へ」をクリックします。
「いいえ」を選んだときは、下段へ。

「手動受信モード」にするときは、「はい」をクリックして「次へ」をクリックします。
「FAX/TEL切り替えモード」にするときは、「いいえ」をクリックして「次へ」をクリックします。

受信モードを確認する画面（選んだ受信モードによって違う内容が表示されます）

表示された受信モードでいいときは、「次へ」をクリックします。
他の受信モードに変えたいときは、「やり直し」をクリックして「次へ」をクリックします。

選んだ受信モードを確認する画面が表示されます。「次へ」をクリックします。インストールが始まります。

インストールしている間、こんな画面が表示されます。

発信元情報を設定する

「次へ」をクリックします。

「インストールの準備」(22ページ)の表に書きこんだ項目を入力します。社名以外は半角文字で入力してください。

設定したら「OK」をクリックします。

「完了」をクリックします。
パラレルケーブルで、ウィンドウズNTか2000のときは、ここでプリンタドライバがインストールされます。

間違って設定してしまったら
間違って設定してしまったときは、インストールが終わってから、「電話回線の種類を設定する」(33ページ)の画面で変更できます。

スキャンギアとプリンタドライバをインストールする

この画面が出るまでしばらくお待ちください。
表示されたら、「次へ」をクリックします。

「次へ」をクリックします。
スキャンギアをインストールするドライブやフォルダを変えたいときは、「参照」をクリックして新しいインストール先を指定してから、「次へ」をクリックします。

スキャンギアがインストールされている間、こんな画面が表示されます。

「終了」をクリックします。

●パラレルケーブルでウィンドウズ95や98、Meの場合は、このあと、つづけてプリンタドライバのインストールが始まります。プリンタドライバがインストールされている間、こんな画面が表示されます。

インストールが終わると、MultiPASS(マルチパス)ツールバーが表示されます。
つぎの画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

3 マルチパス スウィートの インストール

インストールを終わり、再起動する

■「完了」をクリックします。
インストールは、これで終わりです。

●上の画面が表示されたときは、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」の左が ◉ になっている状態で「完了」をクリックします。ウィンドウズが再起動します。
インストールは、これで終わりです。

●左の画面で、「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を ◉ にして「完了」をクリックすることもできます。この場合は、必ず自分で再起動してください。

●左の画面が表示されなかったときも、必ず再起動してください。

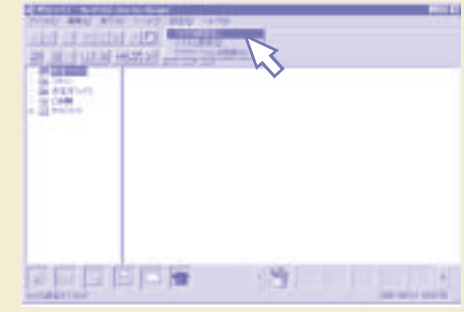
自分で再起動するには
パソコンにフロッピーディスクがセットされているときは、まず、それを取り出します。
　画面左下の「スタート」をクリックし、「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」(または「コンピュータを再起動する」)をクリックして、「OK」をクリックします。

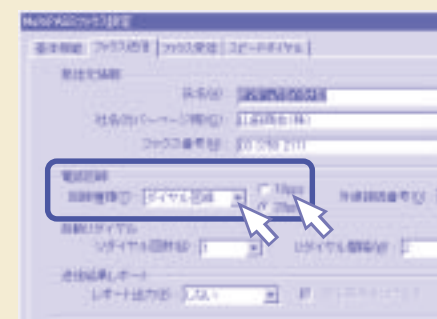
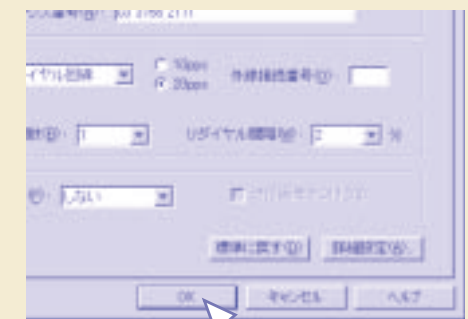
■一般のダイヤル回線(20pps)に接続したときは、34ページに進んでください。
プッシュホン回線に接続したときと、10ppsのダイヤル回線に接続したときは、つぎのページに進んでください。

電話回線の種類を設定する

プッシュホン回線(トーン回線)に接続したときと、
10ppsのダイヤル回線(パルス回線)に
接続したときは、設定を変えてください。
インストールしたときは、
20ppsのダイヤル回線に
設定されています。20ppsの
ダイヤル回線に接続したときは
変更する必要はありません。

画面右下の(ツールバー)をダブルクリックします。

マルチパスツールバーが表示されるので、(Desktop Manager)(デスクトップマネージャ)をクリックします。

デスクトップマネージャの画面が開きます。「設定」メニューをクリックして「ファクス設定」をクリックします。

「ファクス設定」の画面が表示されたら、「ファクス送信」タブをクリックしてください。

プッシュホン回線に接続したときは「回線種類」の欄をクリックして、「プッシュ回線」をクリックします。
10ppsのダイヤル回線に接続したときは、回線種類は「ダイヤル回線」のままで、「10pps」をクリックします。

「OK」をクリックして、「ファクス設定」の画面を閉じます。
「セットアップの警告」という画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

4 使用説明書とヘルプの見方

ここまでで、B-25のセットアップが終わりました。
この本の後半では、
マルチパススウィートを使って、
パソコンに画像を読みこんだり、
パソコンでファクスを送ったり、
受信したりする方法について
説明します。
その前に、
B-25の使い方を知るための
マニュアルやヘルプについて説明します。

B-25とマルチパススウィートの使い方を知るには

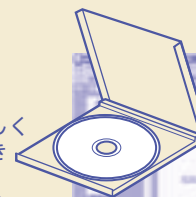
マルチパススウィートの使い方を知りたいとき

- パソコンからファクスを送る
- パソコンでファクスを受信する
- B-25で印刷する（プリンタとして使う）
- パソコンに原稿を読みこむ（スキャナとして使う）

この本（マルチパスB-25の羅針盤）の後半

もっとくわしく知りたいとき

MultiPASS Suite使用説明書

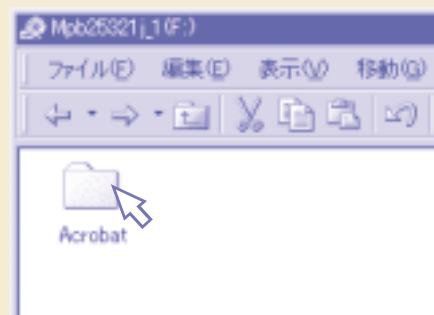
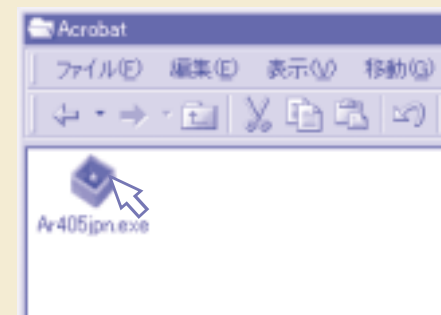
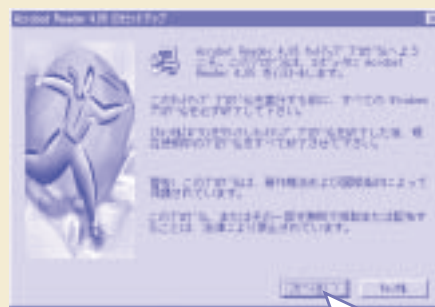
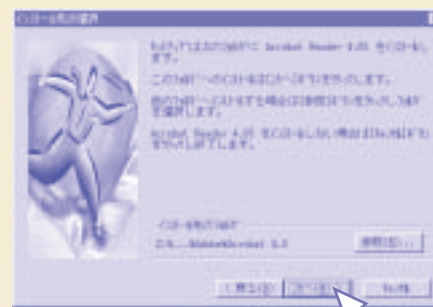
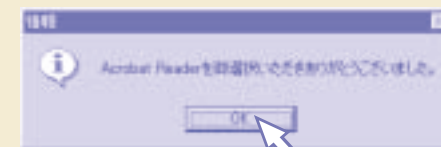
マルチパススウィートのヘルプ

B-25本体の使い方を知りたいとき

- B-25でファクスを送る
- B-25でファクスを受信する
- コピーをとる
- B-25に原稿をセットする
- B-25に用紙をセットする

MultiPASS B-25
使用説明書

アクロバットリーダーをインストールする

『MultiPASS Suite 使用説明書』は
PDFファイルです。
PDFファイルを見るためには、
アクロバットリーダー(Acrobat Reader)が
必要です。
あなたのパソコンに
インストールされていないときは、
このページを見て、
インストールしてください。

デスクトップの「マイコンピュータ」を開き、その中のCD-ROMのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「開く」をクリックします。

CD-ROMのウィンドウが開いたら、「Acrobat」をダブルクリックします。

「Ar405jpn」(または「Ar405jpn.exe」)をダブルクリックします。

「次へ」をクリックします。

「次へ」をクリックします。インストールがはじまります。インストールするドライブやフォルダを変更するときは、「参照」をクリックして、表示された画面で選んでください。

「OK」をクリックします。
インストールが終わりました。CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。

4 使用説明書とヘルプの見方

マルチパススウィートの使用説明書とヘルプの見方

B-25をパソコンと接続して使うときのくわしい説明は、『MultiPASS Suite 使用説明書』(CD-ROM)とマルチパススウィートのヘルプを見てください。

使用説明書をよく見るときは

使用説明書をCD-ROMからパソコンにコピーしておくと、すぐに見ることができます。

右上の手順で「説明書」のウィンドウが開いた状態で、「B25_SOFT(.pdf)」(使用説明書のファイル)をデスクトップなどにドラッグするとコピーされます。

コピーしたら、そのアイコンをダブルクリックすると使用説明書が開きます。

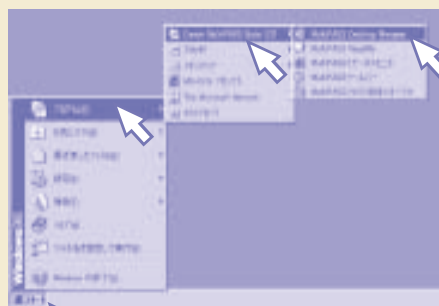
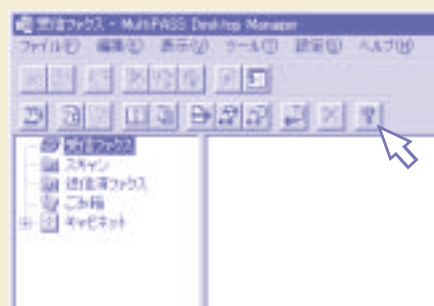
『MultiPASS Suite使用説明書』の見方

「MultiPASS B-25」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、デスクトップの「マイコンピュータ」を開き、その中のCD-ROMのアイコンを右クリックします。

表示されたメニューの中から「開く」を選びます。CD-ROMのウィンドウが開いたら、「説明書」を開き、「B25_SOFT(.pdf)」をダブルクリックします。

『MultiPASS Suite 使用説明書』が表示されます。

アクロバットリーダーを最初に使うときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されます。同意いただいた上で、「同意する」をクリックしてください。

ヘルプの見方

Windowsのデスクトップで、スタート→プログラム→Canon MultiPASS Suite 3.21→MultiPASS Desktop Managerの順にクリックします。

Desktop Manager(デスクトップ マネージャ)が開いたら、(ヘルプ)ボタンをクリックします。

「目次」タブで見たい項目をダブルクリックするか、「キーワード」タブで探したい語句を入力して、「表示」をクリックします。

マルチパススウィートを使ってできること

ここからは、パソコンに原稿を読みこんだり、
読みこんだ原稿をファクスや電子メールで送る方法などを
説明します。
順番に読む必要はありません。
必要なページだけ読んでください。
できれば操作もしてみてください。

5 原稿を読みこむ（スキャン）

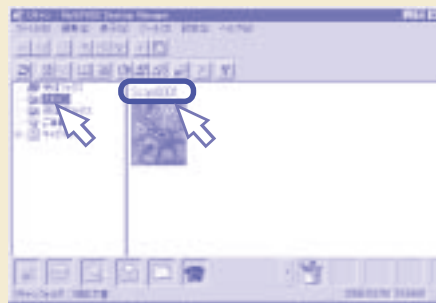
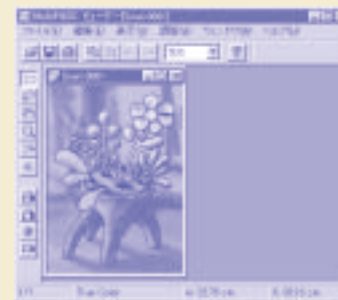
まず、原稿（用意した写真）を
B-25で読みこんで
パソコンに取りこみます。
インストールしたデスクトップマネージャ
（Desktop Manager）と
スキャンギア（ScanGear）が
役に立ちます。

原稿をパソコンに読みこむ

原稿（用意した写真）をセットしてください。原稿ガイドは、原稿の両わきにぴったり寄せます。
原稿が厚いときやキャリアシートを使うときは給紙レバーを右に動かします。

パソコンで、「スタート」をクリックし、「プログラム」、「Canon MultiPASS Suite 3.21」の順にを合わせ、右側に表示される「MultiPASS Desktop Manager」をクリックします。

デスクトップマネージャの画面が開いたら、左上の（スキャン）をクリックします。
「ソースを選択してください」という画面が表示されたときは、「Canon MultiPASS B-25」をクリックして、「選択」をクリックしてください。

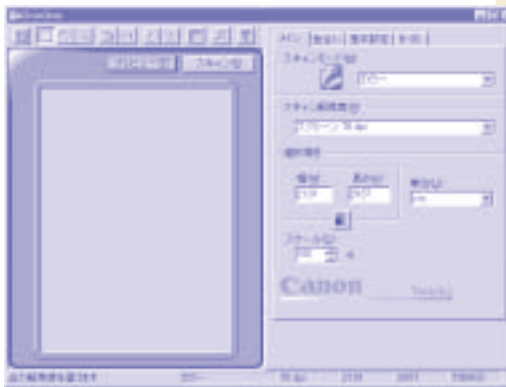
スキャンギアが開くので、「スキャン」をクリックしてください。
B-25がウィーンとうなり声をあげて原稿を中へ引きこんでいきます。

読みこみが終わるとスキャンギアが消えます。「スキャン」フォルダをクリックすると、右側に「Scan0001」という今読みこんだ画像が表示されます。ダブルクリックしてください。
名前の最後の数字は読みこむたびに増えていきます。

読みこんだ画像が画面に表示されます。この画面を「ビューア」といいます。デスクトップマネージャにはいっている画像を見るための画面です。

画像を読みこむ=スキャンする
画像を読みこむことを「スキャンする」といいます。日本語にすると「走査する」といった意味でしょうか。スキャンする装置をスキャナといいます。B-25は、パソコンから見ると、プリンタでもあり、スキャナでもあります。また、ファクシミリでもあります。

プレビューとスキャン
画像を本番として読みこむ前に、まず粗く読みこんで画像の具合いをみて、明るさや読みこむ範囲を調整することもできます。スキャンギアでは、「プレビュー」で仮読みこみを、「スキャン」で本番の読みこみを行います。「プレビュー」は何回でもできます。気に入った状態になったら「スキャン」をクリックしてください。

プレビューで見てみよう

「スキャン」をクリックして読みこむ前に、
「プレビュー」をクリックすると
仮読みこみすることができます。
プレビューの状態で
読みこむ範囲を指定したり、
色合いを変えてから、
原稿をセットしなおして
「スキャン」をクリックすると、
指定したように読みこめます。

カラーか白黒かを選ぶ

カラーで読みこむときは、「スキャンモード」で「カラー」を選びます。

白黒で読みこむときは、「グレースケール」か「文字強調」か「白黒」のどれかを選びます。

「グレースケール」は、中間色(灰色)も表現できるので、写真など中間色がある原稿を読みこむときは、グレースケールを選んでください。

「白黒」は、一般のファクスのように白と黒のデータしか持たないので、データの大きさは小さくなりますが、中間色は出ません。写真などを読みこむときは、「B-25」タブをクリックして、「白黒化の方法」で「ハーフトーン」を選んでください。

「文字強調」を選ぶと、いったんグレースケールで読みこんだ後、文字が読みやすいように自動的に白黒と同じデータに変換されます。

スキャンモード	色	
カラー	24ビット/1ピクセル	約1600万色RGBカラー
グレースケール	8ビット/1ピクセル	256階調グレースケール
文字強調	1ビット/1ピクセル	白黒2値
白黒	1ビット/1ピクセル	白黒2値

解像度を選ぶ

「スキャン解像度」では、解像度を指定します。数が大きいものを選ぶと細かく読みこまれ、小さいものを選ぶと粗く読みこまれます。

スキャンギアのボタン

プレビュー消去　プレビューを消去したいときにクリックします。

領域選択　クリックして、プレビューの上でドラッグすると、その範囲だけ読みこまれるようになります。

画像の移動　クリックして、プレビューをドラッグするとかくれている部分を見ることができます。

ズーム　クリックして、プレビューでクリックするとプレビューが拡大されます。右クリックで縮小。

ネガ/ポジ　原稿の色を写真のネガとポジのように補色に反転して読みこみます。

左右反転　原稿の左右を逆にして読みこみます。

左回転　原稿を左に90度回転して読みこみます。

右回転　原稿を右に90度回転して読みこみます。

定規　プレビューの上と左に定規が表示されます。

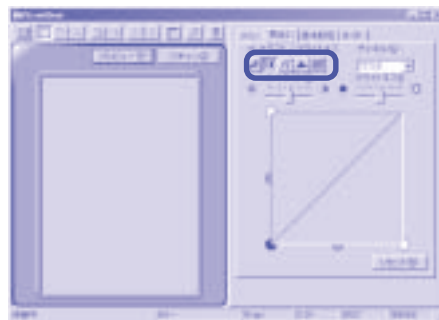
自動補正　クリックすると自動的に色合いが補正されます。

ヘルプ　ヘルプを表示します。

5 原稿を読みこむ（スキャン）

プレビューで色合いなどの設定をする

スキャンギア（ScanGear）の画面では、
前ページで説明した
カラーか白黒の選択や
解像度の設定のほかに、
色合いなどの
設定をすることができます。

「色合い」タブ

左上のボタンをクリックするとどういう調整の仕方をするかが切り替わります。

自動補正　クリックすると自動的に色合いが補正されます。

コントラスト/ブライトネス　コントラスト（明暗の差）とブライトネス（明るさ）を調整します。

ガンマ　ガンマカーブを設定して調整します。

ヒストグラム　黒点、中間点、白点を設定して、色合いを調整します。

トーンカーブ　露出の過多や不足、コントラストの強弱を修正します。

「基本設定」タブ

OCRソフトウェアで文字原稿を読み取りやすくしたいときは、「文字強調」を☑にしてください。

「カラーマッチング」は、読みこんだ原稿色が元の原稿の色に近い色でモニタに表示されるようにする機能です。

「B-25」タブ

「用紙サイズ」では、読みこむ原稿のサイズを選びます。

「スキャンモード」で白黒を選んだときは、「白黒化の方法」を選べます。「スレッショルド」にすると、白と黒がはっきり区分けされ、「ハーフトーン」にすると細かい点で濃淡が表現されます。

読みこんだ画像を調整してみよう

**読みこんだ原稿が、
思ったような色にならないときは、
デスクトップマネージャで読みこんだ
画像(スキャンフォルダにはいっています)を
開いて、画像調整を試してみてください。**

まず、自動調整してみよう

読みこんだ原稿が思ったような濃さにならなかったときは、まず、(自動濃度調整)をクリックしてみてください。濃さが自動的に調整されます。をクリックしても思ったような濃さにならないときは、「編集」メニューの「元に戻す」を選ぶと元に戻ります。

原稿の色合いを変えたいときは、(自動色彩調整)を試してください。

明るさを調整したいときは

(ブライトネス/コントラスト)をクリックすると「ブライトネス/コントラスト」画面が表示されます。

明るさを調整する画面です。

ブライトネス(明るさ)のを右に動かすと画像は明るく、左に動かすと暗くなります。

コントラスト(明暗の差)のを右に動かすと、明暗の差がくっきりし、左に動かすとソフトになります。

「黒点/白点」でも、明暗を調整することができます。

ビューアの「調整」メニュー

ブライトネス/コントラスト　上記参照。

カラーバランス　赤、緑、青のレベルを変えることができます。上段の赤のを右に動かすと、赤みが強くなり、左に動かすと弱くなります。緑を調整するときは中段、青を調整するときは下段のを動かします。

黒点/白点　(左側のスポイト)でいちばん暗いところを、(右側のスポイト)でいちばん明るいところを指定して、よりくっきりした画像にすることができます。

ぼかす　画像をぼかして、粗いカラー画像などをソフトに仕上げることができます。

シャープネス　画像の色の差を大きくして、くっきりした画像にします。

ノイズ除去　細かいゴミのような点を除去します。

モワレ除去　印刷物を読みこんだときに、方向の違う縞模様や並んだ点が交差するために、モワレが出ることがあります。このモワレを減らすことができます。

JPEGノイズ除去　JPEG画像特有のノイズを減らします。

透過除去　原稿の裏側の模様などが透けて見えてしまったとき、それを取り除きます。

ゴミ除去　小さな点のゴミを取り除きます。ゴミが周囲よりも明るい色のときは「明るい」を、暗い色のときは「暗い」をクリックします。

スキャナノイズ除去　スキャナで読みこんだ筋を除去します。筋の方向によって、縦か横を選びます。

部分的に調整したいとき
編集ツールバーの(選択)ボタンか、(投げ縄)ボタンをクリックして、その部分を選択します。細かい部分まで見たいときは、(ズーム)ボタンをクリックして、画像の見たいところをクリックします。また、(移動)ボタンをクリックし、画像の上でドラッグして、見たいところへ移動させることもできます。

傾いて送られてきたファクスは、(傾き修正)ボタンで、まっすぐにすることができます。アノテーションをつけたいときは、(アノテーション)ボタンをクリックすると、アノテーションツールバーが表示されます。

5

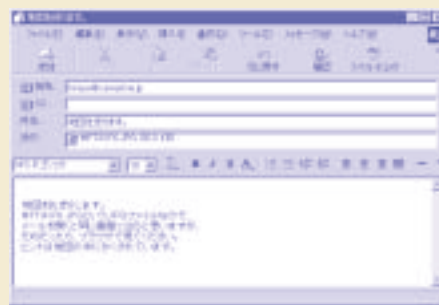
原稿を読みこむ（スキャン）

マルチパスツールバーを使うと、
原稿を読みこんでファクス送信したり、
原稿を読みこんで
グラフィックソフトで表示したりする
一連の操作をいちどに行えます。
ここでは、
原稿を読みこんで
電子メールに添付して送信する操作を
見てみましょう。
あらかじめ、
インターネットで電子メールを
送れる状態にしておきます。

ツールバーで原稿をメールに添付して送る

原稿（用意した写真）をセットしてください。原稿ガイドは、原稿の両わきにぴったり寄せます。
原稿が厚いときやキャリアシートを使うときは給紙レバーを右に動かします。

マルチパスツールバーの（メール）をクリックします。
B-25にセットした原稿が読みこまれます。

読みこみの画面が表示されます。読みこみが終わったら「ＯＫ」をクリックしてください。

電子メールソフトの画面が開きます。送信先のメールアドレス、メールのタイトルや本文を入力します。

メールを送信します。

ツールバーで何をするかは、自分で設定できる

ツールバーの (ツールバーの設定)をクリックすると、ツールバー設定画面が表示されます。
この画面のタブは、それぞれツールバーのボタンに対応していて、それぞれのボタンをクリックしたとき、何をするかを設定することができます。

ツールバーのボタンの働き

ファクス　原稿を読みこんで、ファクス送信します。

メール　原稿を読みこんで、電子メールに添付して送信します。

文書をスキャン　原稿を読みこんで、OCRソフトに表示します。

写真をスキャン　原稿を読みこんで、グラフィックソフト(ペイントなど)で表示します。
リンク先によってボタンイラストは変わります。

カスタム　原稿を読みこんで、ツールバーの設定で関連付けたアプリケーションで表示します。

Desktop Manager　デスクトップマネージャを開きます。

ツールバーの設定　ツールバーの設定をする画面を開きます。

ヘルプ　ヘルプを開きます。

このボタンをツールバーに表示する　ツールバーにボタンを表示します。☑にすると、ボタンがツールバーに表示されます。

リンク先　読みこんだ原稿を扱うアプリケーションのパスとプログラムが表示されます。「文書をスキャン」、「写真をスキャン」、「カスタム」タブでは、あなたが使いたいアプリケーションを指定してください。

設定　「ファクス」タブでは、「ファクス」ボタンを使って読みこんだ文書を送信するときの設定を変更します。「設定」をクリックすると、用紙サイズなどを変更できます。「文書をスキャン」、「写真をスキャン」、「カスタム」タブでは、読みこみ先として関連付けたいアプリケーションを選びます。

ファイルの種類　読みこんだ原稿を保存するときのファイル形式(BMPやTIFなど)を選びます。リンク先のアプリケーションで読みこめるファイル形式を選びます。

スキャンの設定　読みこむ画像の画像タイプ(白黒など)、画質(解像度)、用紙サイズ(A4、レターなど。カスタムを選ぶと幅、長さを自分で指定できます)を選べます。

6 印刷する（プリント）

印刷のまえに、印刷の設定が必要です。オートパレットとBJカートリッジと用紙を選べば印刷できます。

Printerのプロパティ

「プロパティ」という言葉は、日本語の「設定」といった意味です。印刷に関する設定は、ここで行います。「プリンタドライバ」の設定のための画面です。わからないことがあったら、『MultiPASS Suite使用説明書』（CD-ROM）を見てください。

オートパレット

目的に合った印刷をするために、用紙や色の調整などいろいろな設定ができますが、それをいくつかの代表的なパターンから選ぶだけでいいようにしたのがオートパレットです。

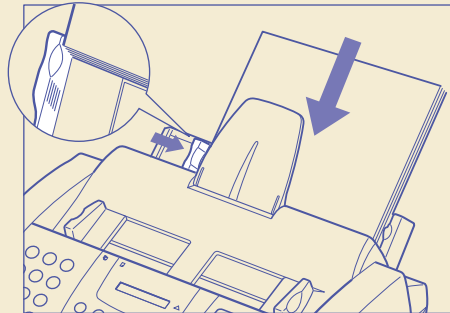
カラーBJカートリッジBC-21eを使うときに、いちばんきれいに印刷できるのは「写真」です。カラーBJカートリッジBC-22eフォトでは、「スーパーフォト」か「カメラ」です。

「Printerのプロパティ」画面の「BJカートリッジ」

カラーBJカートリッジBC-21eを使うときは「カラー」、カラーBJカートリッジBC-22eフォトを使うときは「フォト」、ブラックBJカートリッジBC-20を使うときは「ブラック」を選んでください。

ウィンドウズNTや2000のとき

ウィンドウズNTと2000では、右の画面と少し違う画面が表示されます。BJカートリッジと用紙の種類は、「B-25 Printerのプロパティ」画面の「基本設定」画面で選んでください。

また、オートパレットに対応する機能として「お気に入り」があります。設定を登録して使ってください。

紙をセットして記録紙ガイドを紙に合わせます。

紙をセットするときに大切なことは、そろえてキチンと置くこと、厚い紙のときは紙間選択レバーを右にすること。このふたつです。くわしくは18ページを。

パソコンで印刷したい文書を開いて、印刷の操作をします。

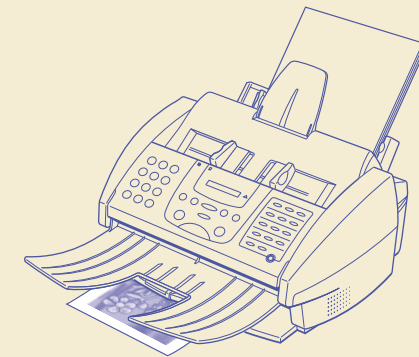
38ページで読みこんだ画像を印刷するのであれば、ビューアの「ファイル」メニューをクリックして、「印刷」をクリックします。

この画面の「プロパティ」をクリックします。

この画面はウィンドウズ95、98、Meのものです。ウィンドウズNT、2000では、違う画面が表示されますが、同じように操作してください。

「B-25 Printerのプロパティ」画面のオートパレットの「写真」をクリックします。BJカートリッジの欄は「カラー」に、用紙の種類は「高品位専用紙」になります。普通紙に印刷するときは「普通紙」を選んでください。

「B-25 Printerのプロパティ」画面は、「OK」をクリックすると閉じます。続けて、「印刷」画面の「OK」をクリックします。「印刷」画面が閉じ、印刷が始まります。

複数のページがある文書を印刷するときは、「ページ指定」に何ページから何ページまで印刷するかを指定することができます。

印刷してすぐに触るとインクが手につくことがあります。印刷されていないところをそっと持ってください。

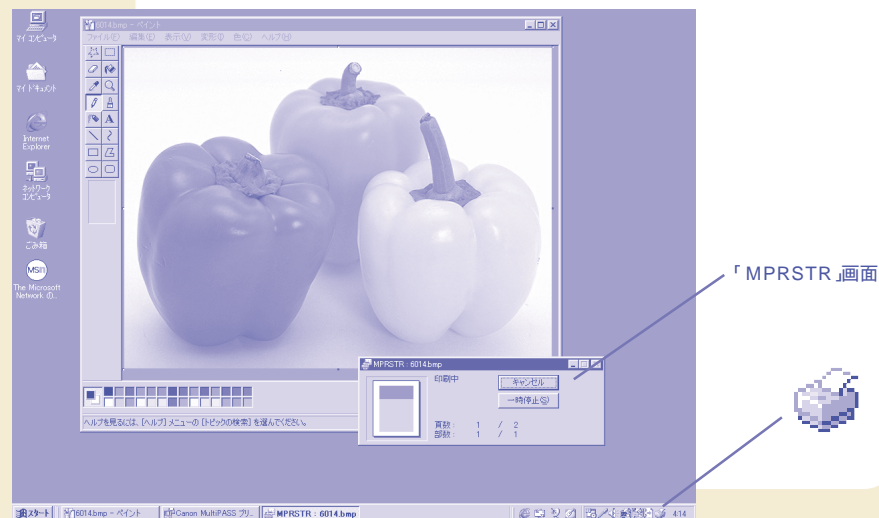
印刷を中止するには

「印刷」画面で「OK」をクリックしてから、印刷がはじまるまでには少し時間がかかります。

ウィンドウズ95、98、Meのときは、まず「MPRSTR」の画面が開き、印刷が始まります。先に印刷しているものがあれば、それが終わってから印刷されます。

「MPRSTR」画面が表示されている間に、印刷を中止するときは、「MPRSTR」画面の「キャンセル」をクリックします。

「MPRSTR」画面が消えてから印刷を中止するときや、ウィンドウズNT、2000のときは、パソコンの画面の右下のボタンをダブルクリックするか、「スタート」→「設定」→「プリンタ」で「Canon MultiPASS B-25 Printer」をダブルクリックして、「Canon MultiPASS B-25 Printer」画面を開き、中止したい文書を選んで、「ドキュメント」メニューの「印刷中止」か「キャンセル」を選びます。

「MPRSTR」画面

BJカートリッジと用紙を選ぶ

BJカートリッジと用紙は、「印刷」画面で「プロパティ」をクリックして、「Canon MultiPASS B-25 Printerのプロパティ」画面でオートパレットを選ぶと、自動的に設定されますが、それ以外のカートリッジや用紙で印刷するときは、自分で選んでください。

BJカートリッジは、「BJカートリッジ」欄で選びます。

このBJカートリッジを使っているときは	これを選んでください
ブラックBJカートリッジBC-20	ブラック
カラーBJカートリッジBC-21e	カラー
蛍光BJカートリッジBC-29F	カラー
カラーBJカートリッジBC-22eフォト	フォト

紙は、「用紙の種類」で選びます。普通紙、高品位専用紙、光沢紙、光沢フィルム、フォトカード、はがき、光沢はがきなどがあります。

おぼえておくと便利な印刷のいろいろ

拡大/縮小印刷、割り付け印刷、ポスター印刷、バナー紙印刷などを使うと印刷する大きさやレイアウトを選ぶことができます。スタンプや背景などを原稿に重ねて印刷する方法もあります。

これは、ウィンドウズ95、98、Meのときに使える機能です

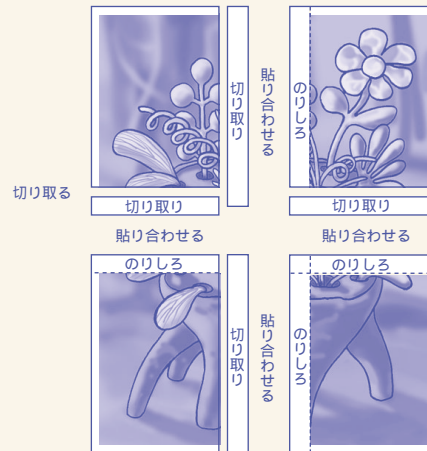
大きく印刷したいときはポスター印刷して貼り合わせる

拡大したり、縮小して印刷したいときは、「ページレイアウト」タブの「拡大/縮小印刷」を選んで、拡大縮小率を指定します。

大きくて紙にはいらないときは、ポスター印刷して2枚以上の紙に分割して印刷する方法があります。「ポスター印刷」を選んで右側の「詳細設定」をクリックすると「ポスター印刷」画面が開いて、何枚に分割するかと、切り取り線や「のりしろ」という文字を印刷するかを指定できます。印刷したら、貼り合わせてください。

いちどに広い範囲の印刷を行うので、インクが充分にあるか確認してから印刷してください。

拡大/縮小印刷や、割り付け印刷は、ページレイアウトタブで指定します。

ポスター印刷を選んで、詳細設定をクリックすると、ポスター印刷画面が表示されます。

ポスター印刷した用紙の、「切り取り」と書かれた部分を切り取って、「のりしろ」と書かれた部分に糊をつけて貼り合わせれば、A4の4枚分（2×2）や9枚分（3×3）、16枚分（4×4）のポスターができあがります。

これは、ウィンドウズ95、98、Me、2000のときに使える機能です

縮小して1枚に何ページかずつ印刷する（割り付け印刷）

割り付け印刷で1枚の紙に2ページずつか4ページずつ印刷することができます。

縮小されるので字は小さくなりますが、紙は半分や4分の1ですみます。

「ページレイアウト」タブで「割り付け印刷」を選んで、「詳細設定」で、1枚に印刷する枚数（2ページか4ページ）と並べる順序を指定します。横書の文書は左から右へ読みこめるのでを選んでください。

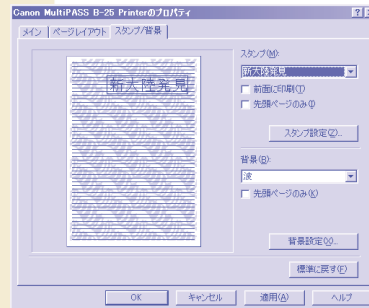
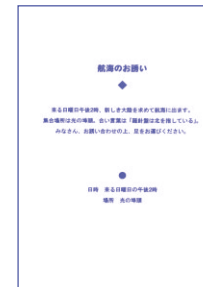
ウィンドウズ2000では、1枚に割りつけるページ数を、2、4、6、9、16から選べますが、並べる順序は選べません。

（ウィンドウズNTには、この機能はありません）

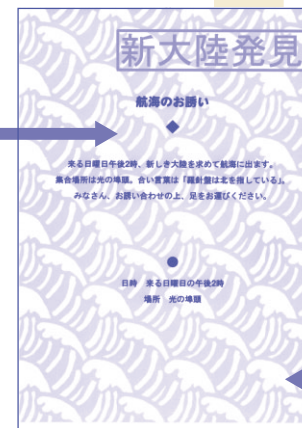
スタンプを押して印刷

これは、ウィンドウズ95、98、Meのときに使える機能です

文字のスタンプを入れて印刷したいときは、「スタンプ/背景」タブで指定します。全ページに入れたり1枚めだけ入れるように指定できます。

また、文字、書体、色、囲み、位置、回転などの細かい指定ができます。

「スタンプ/背景」タブでスタンプと背景を指定すると、どのように印刷されるかが、左側に表示されます。

原稿

スタンプ設定をクリックすると、スタンプ設定画面が表示されます。スタンプ文字列に文字を入力し、囲みやフォント名、サイズを選んでください。さらに、色タブでスタンプの色を選びます。

配置タブの左側に表示されるスタンプをドラッグして、スタンプの位置を動かすことができます。

スタンプと背景を入れて印刷したもの

便箋の模様は「背景」で

これは、ウィンドウズ95、98、Meのときに使える機能です

「スタンプ/背景」タブで背景を指定すると、原稿の全体や一部に模様を入れて印刷することができます。ワープロソフトで作った原稿に背景を入れて印刷すると、ちょうど模様入りの便箋に手紙を書いたようになります。背景にする模様はBMP形式のファイルで作って登録してください。

マルチパスウィートやグラフィックソフトでファクスやイラストを印刷するときは、背景を指定してもファクスやイラストにかくれて印刷されないので、ワープロソフトや表計算ソフトで使ってください。

新しい背景を作るときは、「スタンプ/背景」タブで、背景設定をクリックし、「ファイル選択」で背景にするファイルを指定し、配置を決めます。文字が見やすいように、濃度はうすくします。

背景の名前は、設定登録タブで指定します。

背景として登録した画像ファイル

6 印刷する（プリント）

用紙を変えると、
できあがりも変わります。
いろいろな用紙を試してみてください。

さまざまな用紙で、印刷の可能性をひろげる

用紙を使い分けて、目的にあった印刷を

B-25は、普通紙や封筒、官製はがきなどに印刷できます。

また、キヤノンのBJプリンタ専用紙を使うと、より美しいカラー印刷や、OHP、アイロンプリントなど、印刷の幅をひろげることができます。

印刷の目的に合わせて使い分けてください。

一般の用紙

普通紙
いわゆる、コピー用紙。A4、B5、A5、レター、リーガルサイズで、厚さは0.2mm以下、重さは64〜90g/m²の普通紙が使えます。1枚給紙すれば、重さが90〜105g/m²の普通紙も使えます。

封筒
洋形4号
235×105mm

封筒
洋形6号
190×98mm

洋形4号と洋形6号の封筒に印刷できます。

官製はがき
往復はがき以外の官製はがきに印刷できます。

キヤノンのBJプリンタ用紙

フォト光沢ハガキ
KH-201N
カラーBJカートリッジフォトで印刷するときは、このはがきを使ってください。

フォト光沢カード
FM-101
フォト光沢紙のカードです。ミシン目より大きめに印刷してカットすると、白い縁のない全面印刷ができます。

バナー紙（長尺紙）
BP-101
店頭ポスターやパーティーの飾り付けなどに使う紙です。約180cm（A4、6枚分）まで、つながった状態で印刷できます。

自分用のオートパレット（お気に入り）を作っておこう

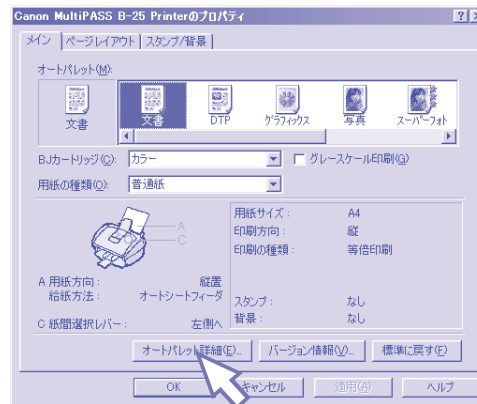
印刷のためのいろいろな
設定がありますが、
印刷するたびに設定していると
なかなかめんどうなものです。
そういうときは、オートパレットを
使います。
印刷の設定をオートパレットに
登録しておくと、
オートパレットを選ぶだけで、
登録してある設定で印刷できます。

印刷の品質や色の設定は「オートパレット詳細」で

これは、ウィンドウズ95、98、Meのときに使える機能です

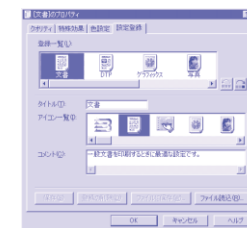
オートパレットには、印刷するものに合わせて「文書」、「DTP」、「グラフィックス」などが最初から用意されています。

「メイン」タブで選べばそのオートパレットの設定になります。

印刷の品質やスピードを変えたり、色を調節したいときは、「B-25 Printerのプロパティの」画面の「メイン」タブの左下にある「オートパレット詳細」をクリックして、開いた画面で設定します。

ウィンドウズNTや2000では、オートパレットではなく、「お気に入り」として設定を登録します。「オートパレット詳細」は使いません。

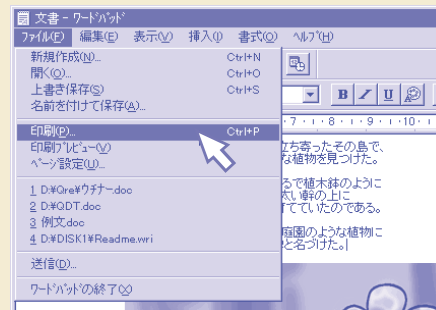
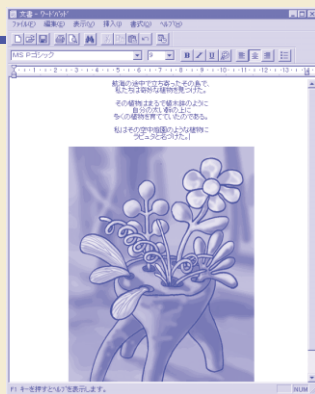
「クオリティ」では、「印刷品位」や「ディザリング」を決めます。どちらも、きれいに印刷したいか速く印刷したいかによって選んでください。

「特殊効果」では、原稿をイラストのようなタッチやセピア調にして印刷するように指定できます。

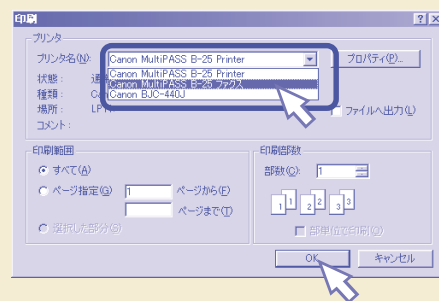
「色設定」には、「色補正」と「濃度」があり、特定の色の濃さを変えたり、全体の濃さを変えることができます。

「設定登録」で設定をオートパレットとして登録しておくと、つぎに同じような印刷をするときに使うことができます。

7 ファクスを送る

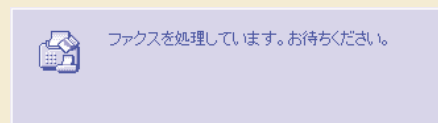
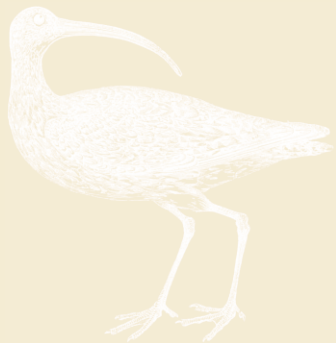
B-25は、パソコンを使わなくても、
B-25本体から
ファクスを送信できますが、
パソコンを使うと
ワープロソフトで作った文書や、
電子メールで受けとったイラストを、
紙に印刷しないで、
直接送ることができます。
送られてきたファクスも、
そのまま転送することができます。
ここでは、いちばんかんたんで
普通の送り方を説明しましょう。

パソコンからファクスを送る

まず、アプリケーションで送信する文書を作ります。印刷する機能があればどのアプリケーションでもかまいません。

「ファイル」メニューの「印刷」を選びます。「印刷」がないときは、「プリント」などそのアプリケーションの印刷の操作を行います。

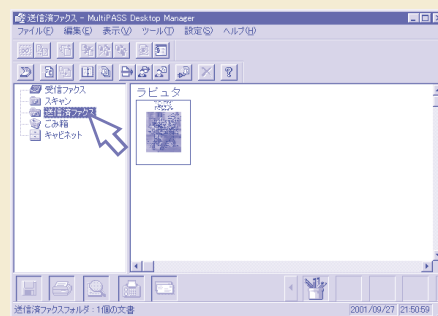
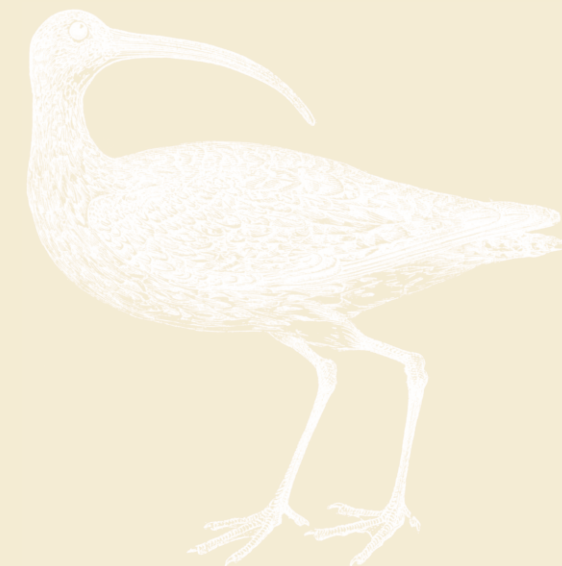
「印刷」画面が表示されたら、プリンタ名の欄をクリックします。

「MultiPASS B-25 ファクス」をクリックして、「OK」をクリックします。
「ファクス送信」画面が表示されます。

「姓」、「名」、「ファクス番号」を入力します。全部半角で入力してください。
たとえば、姓は「ｻﾄｳ」、名は「ﾖｼｵ」、ファクス番号は「03-1234-5678」。
「姓」、「名」は全角文字も入力できますが、全角文字は送信したファクスの上部には印刷されません。

「姓」、「名」、「ファクス番号」を入力すると「送信」がはっきりと表示されます。「送信」をクリックしてください。

こんな画面が表示されます。あとはファクスが送信されるのを待つばかりです。

送信したファクスがどうなっているか見てみましょう。デスクトップの右下の（ファクス送信マネージャ）をクリックします。

送信が終わるまで、ファクスはこの画面に表示されます。
ファクスの内容を見ることはできません。

送信が終わったファクスは、デスクトップマネージャの「送信済ファクス」フォルダに保存されます。ダブルクリックするとファクスを開いて見ることができます。

MultiPASS ファクス送信マネージャ
送信が終わると、は表示されなくなります。が表示されていないときは、「スタート」をクリックし、「プログラム」、「Canon MultiPASS Suite 3.21」の順にを合わせ、「MultiPASS ファクス送信マネージャ」をクリックして開きます。

ファクスの送り方には、
日時指定や保留、
カバーページをつけた送信、
カバーページだけの送信など、
いろいろな便利な送り方があります。

紙の原稿を読みこんで送るには

B-25に原稿をセットしてマルチパスツールバーの(ファクス)をクリックしてください。原稿が読みこまれて、パソコンの画面にはファクス送信画面が表示されます。送信先のファクス番号と名前を入力して「送信」ボタンをクリックすると送信されます。

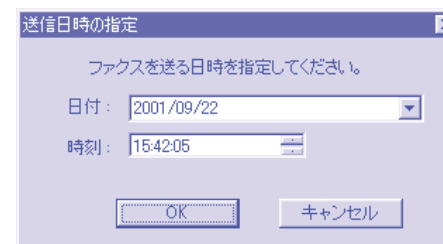
とりあえず準備して まだ送らないでおく

とりあえずファクスを送る準備はしたけれど、すぐには送らないというときは、「送信」ボタンをクリックするかわりに、「送信保留」ボタンをクリックします。

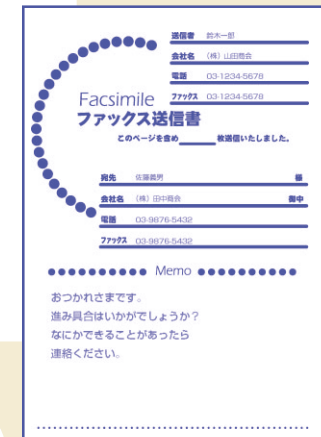
　保留したファクスはファクス送信マネージャで、あなたが送信するのを待っています。 送信するときには、(ファクス送信マネージャ)ボタンをクリックして、ステータスが「保留中」になっているファクスをさがしてください。

日時を指定して送信する

ファクス送信画面で日時指定をクリックすると、「送信日時の指定」画面が表示されます。ここで日時を指定しておけば、その日、その時刻に送信されます。相手が話し中で後で送り直したいときや、電話代が安い夜間に送りたいときなどに便利。

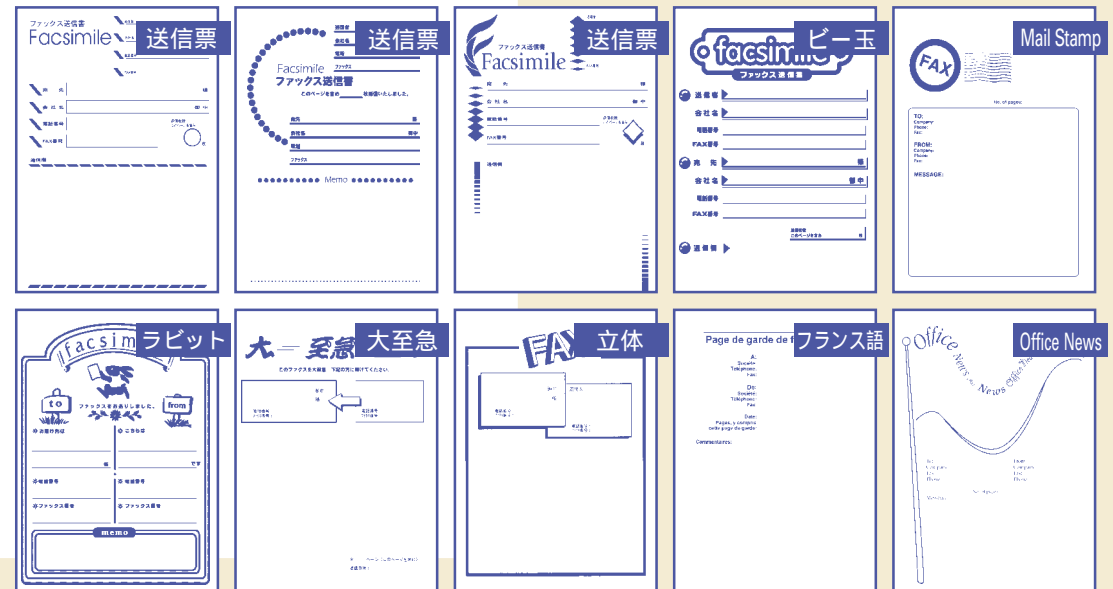
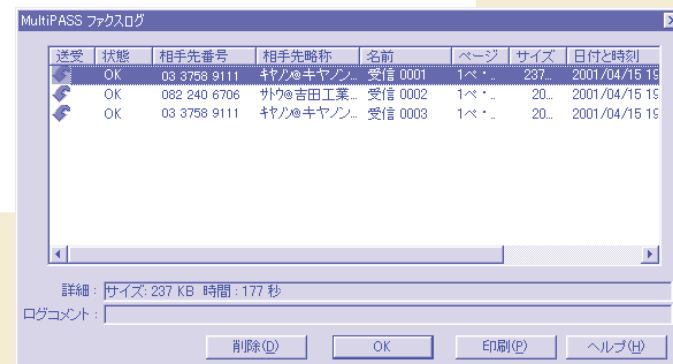
　ただし、パソコンとB-25の電源は入れておいてください。

短い用件のときは カバーページだけ送る

ちょっとした文章だけで用事がすむときは、メモをつけた送信票(カバーページ)を、1枚だけ送ることができます。

デスクトップ マネージャの (ファクスメモ)をクリックして、ファクス送信画面が開いたら、送信先などを指定します。用件をメモ欄に入力して送信します。

送信票(カバーページ・表紙)をつけて送ろう

ファクスの最初にカバーページをつけて送りたいときは、「ファクス送信」画面の「カバーページ」の欄の項目を指定します。まず、「テンプレート」でカバーページの種類を選び、「発信者名」(あなたの名前)、「電話番号」(あなたの電話番号)を入力します。

これらの項目がカバーページに配置されて送られます。「プレビュー」をクリックすると、どんなカバーページになるかを見ることができます。

24種類のカバーページがありますが、さらに自分だけのカバーページを作ることもできます。『MultiPASS Suite使用説明書』(CD-ROM)を見て挑戦してください。

送信後のファクスの仕組みを知って使いこなそう

送信をクリックしたあとのファクスは、
あなたが指定した送り方にしたがって、
すぐに送信されたり、
送信のタイミングまで
ファクス送信マネージャに
保管されたりします。

送信を中止するには

必要に応じて、処理中(作業中)のファクスを中止できます。ファクス送信マネージャで中止したいファクスを選んで(中止)ボタンをクリックしてください。

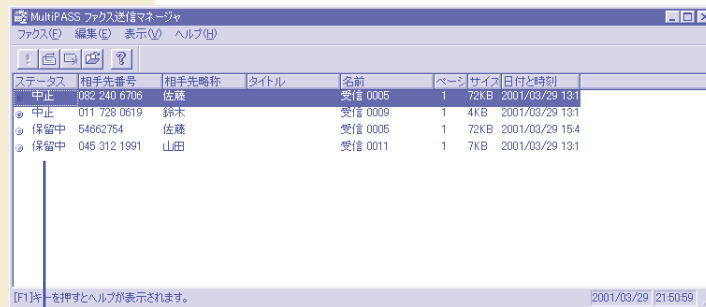
送信や受信の記録はファクスログで見る

いつ、どこにファクスを送信したかや、どこから受信したかを調べたいときは、ファクスログを見てください。デスクトップマネージャの(ファクスログ)をクリックすると表示されます。

再送信するには

保留中、送信エラー、中止したファクスは、ファクス送信マネージャで送信しなおすことができます。

ファクス送信マネージャで、再送信したいファクスを選び、(再送信)ボタンをクリックし、ファクス送信画面で「送信」ボタンをクリックします。送信先やカバーページを変更して送ることもできます。

送信した後のファクスはどこへ?

ファクス送信マネージャの画面

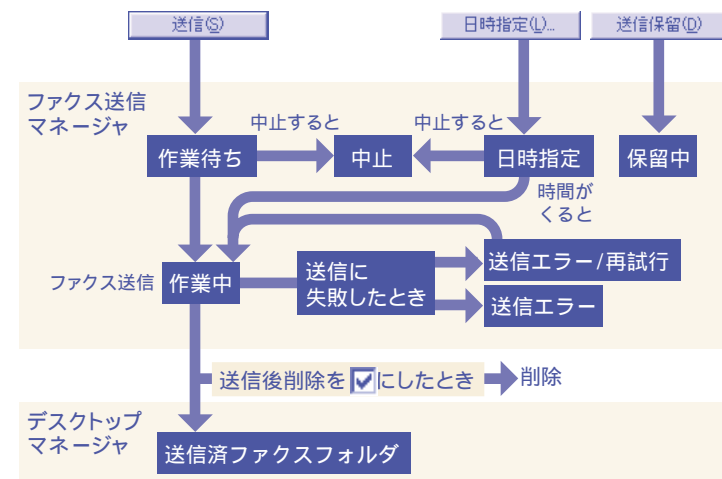
ステータス
ステータスを見ると、そのファクスが今どうなっているかがわかります

ステータス	意味
作業待ち	ファクス送信待機中。送信の操作を行った順に送信されます。
日時指定	送信日時を指定したファクス。
作業中	ファクス送信中。
送信エラー/再試行	B-25本体や回線が使用中のため送信できないファクス。リダイヤル待ち。
送信エラー	設定したリダイヤル回数内に正常に送信できなかったファクス。
保留中	保留したファクス。
中止	中止したファクス。
エラー	B-25で発生した問題によって送信できなかったファクス。

「送信」ボタンや「日時指定」ボタンをクリックすると、ファクスはファクス送信マネージャに保存され、順番に送信されます。

ファクス送信画面の「送信後削除」を☑にしておくと、送信が終わったファクスは自動的に削除されます。□のときは送信が終わると、「送信済ファクス」フォルダに移動します。

デスクトップマネージャの　(ファクス送信マネージャ)ボタンをクリックするとファクス送信マネージャが開きます(スタート→プログラム→Canon MultiPASS Suite 3.21→MultiPASSファクス送信マネージャでも開けます)。これから送信するファクスの一覧が表示され、ステータスの欄にどういう状態になっているかが表示されます。

送信したファクスのステータスの変化

電話帳に登録しておけば、
電話帳の欄の誰かをクリックして、
「加える」ボタンをクリックするだけで
送信先を指定できます。

いつもの送信先は電話帳に登録しておこう

よく送りそうな知り合いを登録する

電話帳に送信先を登録する方法はふたつあります。

ひとつは、ファクスやEメールを送信するときに、ついでに登録する方法。ファクス送信の画面で「新規」ボタンを押して送信先登録画面で入力します。

もうひとつは、デスクトップマネージャの (電話帳)ボタンで電話帳画面を開いて登録する方法。電話帳画面の「新規登録」ボタンをクリックすると、同じように送信先登録画面が開くのでそこで登録します。

氏名は必ず入力します。ファクス番号とEメールアドレスはどちらかを必ず入力してください。「追加」ボタンをクリックすると登録されます。

たくさんの送信先にいちどに送るには

たくさんの送信先にいちどに送るときは、まず全部の送信先を電話帳に登録してください。
登録したら、ファクス送信画面の①電話帳の欄で、送信したい相手をクリックし、②「加える」ボタンをクリックする操作をくり返します。③加えた送信先は、送信先の欄にたまっていきます。④最後に「送信」ボタンをクリックすると、送信先の欄に指定した相手に順番にファクスが送られます。

あらかじめ、グループにしておくこともできます。グループにしておくと、そのグループに登録した全部の送信先にファクスが送られます。

いつもいっしょに送る送信先は グループに登録しておく

たとえば、山歩き同好会のメンバー20人に毎月例会案内を送るのに、毎回ひとりずつ送信先を指定して送信していたのでは、めんどうだし、間違って誰かを指定し忘れたりするとたいへんです。そういうときは、グループに登録しておきます。

まず、メンバーをひとりずつ電話帳に登録し、全部登録したら、電話帳画面で「グループ登録」ボタンをクリックします。「グループ登録」画面が開いたら、グループ名の欄に「山歩き同好会」と入力し、電話帳の欄に表示されている送信先をクリックして選択し（選択すると、その行の色が変わります）、「加える」ボタンをクリックすると、その送信先が右側に表示されます。

この、選んで、「加える」ボタンをクリックする操作をくり返して、メンバーの名前を全部右に表示したら「登録」ボタンをクリックします。

電話をかける

B-25に電話機をつなぎ、「ファクス設定」で「子電話を使用する」（62ページ）を☑にすると、パソコンで電話番号をダイヤルすることができます。

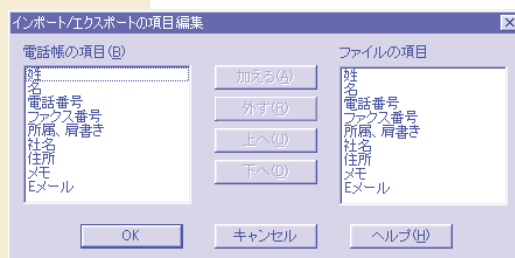
（電話）ボタンをクリックして、「電話」画面の電話番号欄に電話番号を入力するか、下に表示される電話帳に登録されている相手をクリックします。「ダイヤル」をクリックすると電話がかかるので、受話器をとって話してください。

電話ボタンをクリックすると、電話画面が開く

他のアプリケーションの電話帳データを読みこむ

他のアプリケーションの電話帳や住所録などの情報をマルチパススウィートで使うときは、あらかじめ、カンマで区切られているCSVファイルかタブで区切られているテキストファイルに書き出しておきます。

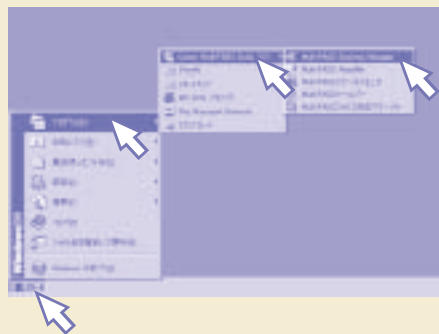
読みこむときは、電話帳画面で「インポート」ボタンをクリックし、読みこむファイルを指定します。「インポート/エクスポートの項目編集」画面で、「電話帳の項目」の順番にあわせて、「ファイルの項目」欄の項目を並べかえます。

逆に、マルチパススウィートの電話帳のデータを他のアプリケーションに読みこむときは、「エクスポート」ボタンをクリックします。

電話帳の 一覧を印刷

電話帳を開いたら、「印刷」ボタンをクリックして、印刷画面で「OK」ボタンをクリックすると、電話帳の一覧を印刷できます。

8 届いたファクスを見る

あなたのパソコンに届いたファクスは、デスクトップマネージャの受信ファクスというフォルダにはいっています。

受けとったファクスをパソコンで見る

パソコンの画面左下の「スタート」をクリックし、「プログラム」、「Canon MultiPASS Suite 3.21」とたどって、「MultiPASS Desktop Maneger」をクリックします。

デスクトップマネージャが起動したら、受信ファクスフォルダを見てください。

受信ファクスフォルダの右のカッコの中に、届いたばかりの(まだ開いていない)ファクスの数が表示されます。

開きたいファクスをダブルクリックします。

そのファクスが開きます。

印刷したいときは、「ファイル」メニューの印刷をクリックするか、(印刷)ボタンをクリックして、印刷画面で「OK」をクリックします。

届いたファクスや読みこんだ原稿はデスクトップマネージャに

受信したファクスや
スキャンした画像を見たいときや、
印刷したいとき、
ファクス送信したいときは、
デスクトップマネージャを開きます。
デスクトップマネージャでは、
これらのファクスや画像などを
まとめて「文書」といいます。

フォルダの種類

受信ファクス　受信したファクスはこの中にはいっています。

スキャン　B-25で読みこんだ原稿はこの中に保存されます。

送信済ファクス　送信したファクスは、ここに保存されます。(「送信後削除」にすると保存されません)

ごみ箱　いらないものはここに入れてください。

キャビネット　この中にフォルダを作ることができます。ファクスや原稿の整理、保管に使います。

デスクトップマネージャで ファクスを見てみよう

デスクトップマネージャの画面は左右に分かれていて、左側にはフォルダが表示され、そこで選んだフォルダの中身が右側に表示されます。

一覧表示ボタンをクリックすると、フォルダの中の文書が、1行にひとつずつ表示されます。

アイコン表示ボタンをクリックすると、フォルダの中の文書がアイコンで表示されます。
＞や＜をクリックして、アイコンに表示されるページを変えたり、アイコンを他のアイコンにドラッグして、ふたつの文書をひとつにしたりすることができます。

デスクトップマネージャのボタン

スキャン　原稿をスキャンします。スキャンした画像はスキャンフォルダに保存されます。

ファクスメモ　カバーページだけをファクスしたいときにクリックします。

インポート　TIFFファイルやビットマップファイルを、「キャビネット」の中のフォルダに読みこみます。

電話帳　送信先の情報を登録します。

ファクスログ　ファクスの送信や受信の履歴を見ることができます。

カバーページ編集　カバーページをデザインします。

カバーページ管理　カバーページの名前を変えたり、削除したりします。

ファクス送信マネージャ　ファクス送信マネージャを開きます。

ファクス設定　ファクスの送信や受信の設定をします。

削除　いらない文書をごみ箱に入れます。

ヘルプ　マルチパスウィートのヘルプを表示します。

8 届いたファクスを見る

ファクスに、文字や図形スタンプなどを書きたすことができます。
これらの文字や図形やスタンプをアノテーションといいます。
送られてきたファクスや、B-25を使って読みこんだ画像、送信後の画像に書きこむことができます。
アノテーションをつけた文書は、送信したり、印刷したりすることができます。

ひとこと添えてファクスを転送(アノテーション)

送られてきたファクスにコメントを添えて転送してみよう

デスクトップマネージャに保存されているファクスは、すぐにファクス送信することができますが、ちょっと書き添えて送りたいときや、部分的に修正して送りたいときは、「アノテーション」を使います。

アノテーションツールバー

ここでは、付箋の貼り方を説明しましょう。

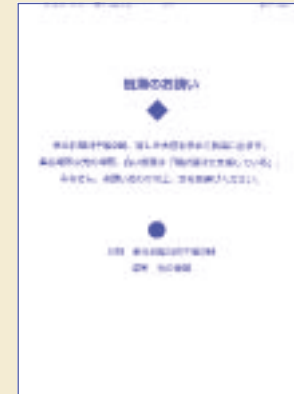
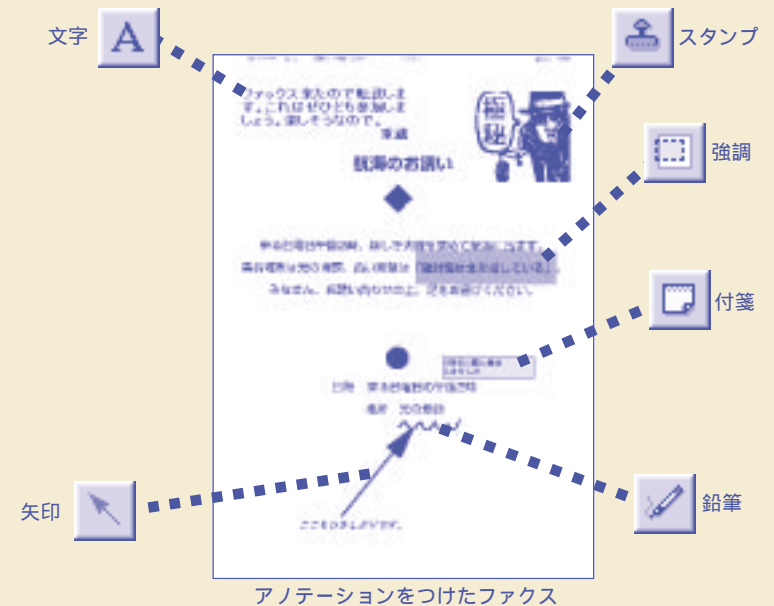
①まず、(付箋)をクリックする。

②付箋を貼る位置を決め、付箋の四角形の左上の角にを合わせてマウスのボタンを押し、右下の角まで動かして、ボタンから指を離す。文書の上に四角い付箋が貼られ、左上に文字入力位置を示す縦線が点滅します。

③キーボードを使って文字を入力する。

付箋を貼るための操作はこれだけです。

付箋の色や文字の色、文字の大きさは、前もって「アノテーション」メニューの「背景の色」、「色」、「フォントの指定」で指定します。付箋を貼ったあとで変えるときは、(アノテーションの選択、よく似たボタンがあるので注意！)をクリックして、文書に貼った付箋をクリックしてから、「アノテーション」メニューで付箋の色や文字の色、大きさを選んでください。

付箋の位置を動かしたいときは、同じようにをクリックしてから、付箋をドラッグします。

送られてきたファクス

アノテーションをつけたファクス

アノテーションボタンの種類

（アノテーション）ボタンをクリックすると、右のボタンを使えるようになります。右のボタンをクリックして、文書の上でクリックやドラッグをするとアノテーションの操作ができます。

アノテーションの選択　これをクリックすると、アノテーションが選べるようになります。移動はドラッグ、削除はDeleteキー。

四角形　文書の上でドラッグすると、その両端を対角線にした四角形を描けます。

線　文書の上でドラッグすると、直線を引けます。

円　文書の上でドラッグすると、その両端を対角線にした円を描けます。

矢印　文書の上でドラッグすると、矢印のついた直線を引けます。

多角形　多角形の角にする場所をひとつずつクリックし、最後にダブルクリックします。

鉛筆　文書の上でドラッグすると、フリーハンドで線を引けます。

強調　文書の上でドラッグすると、その両端を対角線にした四角形の部分に透明な色がつきます。

文字　文書の上でドラッグすると、その両端を対角線にした四角形の枠に文字を入力できます。

スタンプ　文書の上でクリックすると、スタンプを押せます。

付箋　文書の上でドラッグすると、その両端を対角線にした四角形の部分に色がつき、文字を入力できます。

スタンプの種類

図形のスタンプと自分で文字を入力して作る文字のスタンプがあります。スタンプの種類は、「アノテーション」メニューの「スタンプの選択」で選びます。

文字スタンプ（例）

文字スタンプでは、こんなスタンプを、かんたんに作れます。

近日公開

極秘試写会

日付や時間を入れることもできます。

出演者決定っ!

乞御期待

画像スタンプ

B-25本体の設定を、
パソコンから行うことができます。
パソコンから設定すると、
B-25の操作パネルで行った設定は
消えてしまうので、
パソコンを接続しているときは、
できるだけパソコンから設定するように
してください。

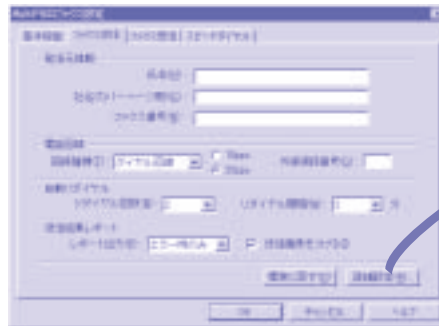
B-25本体の設定もパソコンからできる

B-25本体の設定(ファクス設定)

B-25本体の設定は、これらの画面で行います。これらの画面を開くには、①マルチパスツールバーの(ツールバーの設定)ボタンをクリックし、Desktop Managerタブで「ファクス設定」をクリックする、②デスクトップマネージャの(ファクス設定)ボタンをクリックする、③デスクトップマネージャの「設定」メニューで「ファクス設定」を選ぶ、の3つの方法があります。

基本機能の設定

日付タイプ 液晶に表示したり、ファクスに印刷する日付の年、月、日の順を指定します。
子電話を使用する B-25に子電話を接続しているときは、クリックして、☑にします。
音量調整 呼び出し音などのいろいろな音量を設定します。
下余白 カラー印刷、カラーコピー、カラー受信したファクスの印刷のときの下余白を選びます。
自動的に通信管理レポートを印刷する ☑にすると、20件送受信するごとに通信管理レポートが印刷されます。

ファクス送信の設定

氏名、社名(カバーページ用)、ファクス番号 送信するファクスのヘッダ(いちばん上)につけられる名前やファクス番号を指定します。
回線種類 電話回線がプッシュ回線かダイヤル回線かを指定します。
外線接続番号 B-25を内線に接続したときに外線接続番号を指定します。この後に2秒間ポーズがはいりますが、短いときは「0p」のようにpを入力します。
リダイヤル回数、リダイヤル間隔 ファクス送信がうまくいかないとき、何回送信しなおすか、何分おきに送信しなおすかを設定します。
レポート出力 送信結果レポートを、送信するたびに印刷するか、エラーのときだけ印刷するか、印刷しないかを指定します。B-25本体から送信するときは、「送信画像をつける」を☑にすると、先頭ページの原稿をつけて印刷します。
標準に戻す 氏名、社名、ファクス番号、外線接続番号以外の設定が、工場出荷時の状態に戻ります。

ファクス送信の詳細設定

送信スタートスピード 大きい数値にするほど速く送信できます。送信エラーが多いときは遅くします。
ポーズ時間 電話番号を入力するときに使う「p」(ポーズ)1個分の長さを秒単位で指定します。
ECM送信 ☑にすると、送信するファクスのデータが欠けているとき、その部分を送りなおします。相手がECMに対応していないと通常の送信になります。
自動スタート ☑にすると、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを押した後、スタートボタンを押さなくてもしばらく待つと原稿が読みこまれます。
オフフックアラーム ☑にすると、子電話の受話器がはずれているときに、アラームが鳴ります。
読み取り濃度 送信するファクスの濃度を指定します。通常は「標準」を選びます。
カラーダイレクト送信 ☑にすると、相手機がカラーファクスに対応していないとき、自動的に白黒に変換して送信します。
発信元記録位置 送信するファクスにファクス番号、氏名、日時をつけるかどうか、つけるときはその位置を指定します。
電話番号マーク 発信元記録のファクス番号の前に「FAX」とつけるか「TEL」とつけるかを選びます。

マルチパスツールバーの「ツールバーの設定」ボタン

デスクトップマネージャの「ファクス設定」ボタン

ファクス受信

用紙サイズ　記録紙トレイにセットされている用紙のサイズを指定します。
用紙に合わせて縮小　受信したファクスを用紙のサイズに合わせて縮小印刷するかどうかを指定します。
受信モード　受信モードを選びます。
呼び出ししない　B-25本体で呼び出し音を鳴らさないときは☑にします。☐にしたときは、何回呼び出し音が鳴ったらファクスの受信を開始するかを「**呼び出し回数**」に指定します。
受信オプション　受信したファクスをどう処理するかを指定します。右表を参照。
フォトインクで印刷　カラーBJカートリッジフォトで、ファクス印刷や白黒コピーをするかを指定します。
レポート出力　受信結果レポートを、受信するたびに印刷するか、エラーが発生したときだけ印刷するか、印刷しないかを指定します。
標準に戻す　クリックすると、設定が工場出荷時の状態に戻ります。受信モードは、「自動受信モード」になります。

ファクス受信の詳細設定

受信スタートスピード　大きい数値にするほど、速く受信できます。受信エラーが多いときは遅くします。
ECM受信　受信するファクスのデータをチェックし、データの一部が欠けているときは、その部分を受信しなおします。相手がECMに対応していないと、通常の受信になります。
エコノミー記録　インクの使用量を抑えたいときに、☑にします。

項目名	選択肢	
コンピュータ未起動時	メモリに受信 受信したファクスを B-25のメモリに保存します。	ファクスを印刷 受信したファクスをそのまま B-25で印刷します。
コンピュータ起動時 （インストール時に 設定した項目）	ファクスをアップロード 受信したファクスを印刷せずに コンピュータに送ります。	ファクスを印刷 受信したファクスをそのまま B-25で印刷します。
用紙切れ/ インク切れの時	メモリに受信 受信したファクスを B-25のメモリに保存します。	受信しない ファクスは受信しません。

FAX/TEL切り替えの詳細設定

受信モードを「FAX/TEL切り替え」にしたときに、呼び出し開始時間（ファクスか電話かを判断する時間）、呼び出し時間（呼び出し音を鳴らす時間）、呼び出し音の音質、呼び出し後にファクス受信するか、電話を切るかを選びます。
手動/自動切り替え　「自動」を選ぶと、「受信モード」を「手動受信モード」にしていても、「呼び出し時間」内に電話に出ないと自動受信に切り替わります。
カラーファクスを受信する　カラーファクスを受信するときは、☑にします。
リモート受信　子電話からファクス受信に切り替えることを「リモート受信」といいます。☑にすると、リモート受信できます。「リモート受信ID」には、00～99の2桁の半角数字を指定してください。（最初は「25」に設定されています）子電話で電話を受けて、子電話でこの2桁の数字をダイヤルすると、ファクス受信に切り替わります。

スピードダイヤル

B-25本体で使うワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルを登録できます。マルチパススウィートの電話帳に登録した送信先を使って登録します。（これらは、パソコンからファクスするときには使えません）

索引

あなたのはじめての航海はいかがでしたか。ここからはみんなとは違うあなたの旅が始まります。

マルチパスB-25の羅針盤
発行日 2001年2月1日第1版

構成・文 ■ 平湯あつし
造本・装丁 ■ 小谷充
企画・制作・印刷・製本 ■ セザックス株式会社
発行 ■ キヤノン株式会社
■ キヤノン販売株式会社
261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-7-2
電話 0570-01-9000

Canon

マルチパスB-25の羅針盤

HT1-1106-000-V.1.0　022001SZ7.3